第5次

鳥取市子どもの読書活動推進計画

（令和８年度～令和12年度）

～ 広げよう、本から広がる世界・夢 ～

令和８年４月

鳥　取　市

ー 目　　次 ー

第１章　はじめに １
　第１節　子どもの読書活動の意義 １
　第２節　子どもの読書活動推進に関する取組 １

第２章　基本的な考え方 ２
　第１節　策定の趣旨 ２
　第２節　基本方針 ２
　第３節　計画の対象 ２
　第４節　計画の期間 ２

第３章　子どもの読書活動推進のための方策 ３
　第１節　家庭の役割 ３
　第２節　地域における子どもの読書活動の推進 ４
　　（１）図書館の役割 ４
　　（２）児童館、公民館の役割 ７
　　（３）読書ボランティアの役割 ８
　第３節　学校等における子どもの読書活動の推進 ９
　　（１）学校の役割 ９
　　　　１　学校図書館の環境整備 ９
　　　　２　読書センター機能の充実 １０
　　　　３　学習・情報センター機能の充実 １１
　　　　４　読書活動に関わる人材育成 １１
　　（２）保育園・幼稚園・認定こども園等の役割 １２
　　（３）特別支援の必要な子どもの読書活動の推進 １３
　第４節　　生涯を通して本に親しむ暮らしの推進（生涯読書） １４
　第５節　　啓発・広報等の推進 １５
　第６節　　推進体制の整備 １６

資料編 . . . . １７～３６

絵本リスト . . . . ３７～４９

第１章　　はじめに

第１節　子どもの読書活動の意義

読書は、たくさんの言葉を育み、想像力や表現力を高め、豊かな創造力や生きる力を培います。特に、幼い頃から読書習慣を身につけ本に親しむことは、好奇心を育て集中力を養い、心豊かであたたかな人間性を育んでいきます。

子どもたちが健やかに成長し、豊かな人生を送るためにも、読書はかけがえのないものです。

第２節　子どもの読書活動推進に関する取組

本を読むことは、人格形成や心の発達に大きな影響をもたらすことから、読書の重要性が叫ばれています。近年、子どもたちを取り巻く生活環境の変化は、子どもたちの成長に大きな影響を与えています。スマートフォン等の普及、それを活用した SNS（注１）等コミュニケーションツールの多様化や使用時間の増加、新型コロナウイルス感染症後の生活様式の変化等により、ことばや表現力の乏しい子どもたちが増える可能性があります。

（１）国・県の動向

このような現状を踏まえ、国は、平成１３年１２月に「子どもの読書活動の推進に関する法律」を公布・施行、平成１４年８月、同法に基づく「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」（以下「基本計画」という。）を策定しました。この中で、子どもの読書環境を整備することは自治体の責任であると明示されています。　さらに平成３０年４月第４次「子供の読書活動の推進に関する基本的な計画」が策定されました。発達段階に応じた取組により、読書習慣を形成することや友人同士での活動等を通じ読書への関心を高めるなどの取組が示されました。

平成１７年７月には「文字・活字文化振興法」、平成２０年６月には「国民読書年（平成２２年）」に関する決議が国会でなされています。また、同年６月には図書館法が改正され、「家庭教育の向上に関すること」が加えられました。そして、平成２６年６月には、改正学校図書館法（平成２７年４月施行）が成立し、学校司書が法律上位置づけられました。平成２９年に公示された学習指導要領では、言語能力の育成を図るために、言語活動の充実や学校図書館を計画的に利用しその機能の活用を図り、児童・生徒の自主的・自発的な学習活動や読書活動を充実することが示されました。

また、平成２９年に告示された幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領、保育所保育指針では、引き続き、絵本や物語に親しむ活動を行うことが示されました。国では、令和５年３月に、「第５次子どもの読書活動計画の推進に関する基本的な計画」が策定されました。

鳥取県では、平成１６年４月に策定された「鳥取県子どもの読書活動推進ビジョン」（以下「推進ビジョン」という。）の第５次推進ビジョンが令和７年３月に策定され、鳥取県における子どもの読書活動の推進に関する施策の方向性や取組が示されています。

（注 1）ソーシャルネットワーキングサービス（Social Networking Service）の略で、登録された利用者同士が交流できる WEB サイトの会員制サービスのこと。

（２）本市の取組

鳥取市においては、これら国、県における子どもの読書活動推進の基本的な考え方を踏まえながら、地域性等を考慮し、平成１９年３月に「鳥取市子どもの読書活動推進計画」（以下「推進計画」という。）を策定以降、第２次～第４次を策定し、成果と課題等を踏まえて、子どもの読書活動を推進してきました。

第２章　　基本的な考え方

第１節　策定の趣旨

子どもたちの読書活動を推進するためには、本との豊かな出会いをつくるとともに、自ら進んで読書ができる環境を、家庭・地域・学校・行政など社会全体で整えることが必要です。

このため、本市では、「子どもの読書活動の推進に関する法律」第９条第２項の規定に基づく「市町村子ども読書活動推進計画」として、本市の子どもの読書活動を総合的かつ計画的に推進する上での基本計画として第５次推進計画を策定するものです。

第２節　基本方針

第５次推進計画では、「第１２次鳥取市総合計画」「第３期鳥取市教育振興計画」「鳥取県子どもの読書活動推進ビジョン第５次計画」等を踏まえ、これまでの取組の成果と課題を検証し、環境の変化を加味しながら以下の基本方針によりさまざまな施策を推進します。

（１）子どもたちが生活の中で本と親しむ機会の提供

子どもたちが、日々の生活の中でいつでもどこでも本を手にすることができ、楽しみながら自然に読書習慣が身に付くよう、家庭・地域・学校・行政など子どもたちを取り巻くあらゆる場面を捉えて本と親しむ機会の提供に努めます。

（２）子どもたちが、読書への関心を持ち、意欲を高めるための環境整備の充実

子どもたちがより一層進んで読書ができるよう、市立図書館をはじめ公民館、学校図書館などの整備充実を図るとともに、関係機関と連携を図りながら、質の高いサービスの提供に努めます。また、研修会等を実施し、保育者や司書教諭、学校司書、読書ボランティア等、子どもの読書活動に携わる人材の育成と適切な配置に努め、読書環境の充実に向けて取り組みます。

（３）生涯を通して本に親しむ暮らしの推進

子どもたちは年齢が上がるにつれて、読書をすることから遠のく傾向があります。大人になっても本に親しむ暮らし（生涯読書）が継続できるよう、読書の楽しさを伝えていきます。また、公共施設でのマナー・ルールについての学習機会も設けます。

（４）子どもの読書の意義について啓発・広報

子どもの読書活動の重要性や意義について、「第４次鳥取市子どもの読書活動推進計画」から作成した「おすすめ絵本リスト」等を活用して、子どもたちを取り巻く大人や社会に向け、より一層広い普及・啓発に努めます。

第３節　計画の対象

第５次推進計画の対象は、胎児期からおおむね１８歳以下のすべての子どもとします。

第４節　計画の期間

第５次推進計画の期間は、令和８年（2026 年）度から令和１２年（2030 年）度までの５年間とし、必要に応じて推進計画の見直しを行います。

第３章　　子どもの読書活動推進のための方策

第１節　家庭の役割

読み聞かせの大切さ

乳幼児期に絵本の読み聞かせをすることは、語りかける時間の中で、子どもたちの言葉や心を育み、親子の絆を深めるきっかけになります。読み聞かせを通して、子どもたちは注がれる愛情を感じ、安心して心健やかに成長していきます。保護者にとってもゆったりとした子どもとの関わり方や、心を通わすことの大切さ・楽しさを知ることができます。

[現状と課題]

○　家族形態や労働環境の変化により、就園の低年齢化がすすんでいます。中には、絵本を楽しむ時間や心のゆとりをもちにくい家庭もあります。

○　長く続いたコロナ禍を経て、子育てや遊びなど子どもたちの身近な生活の場面でメディアの普及が進む中、メディアを利用した子育てがひろがっており、子どもたちの読書離れや心身の発達への悪影響が懸念されます。

○　保護者の中には、「言葉を増やしたい」「知識をつけさせたい」などの知育を目的として、熱心に読み聞かせに取り組む方もおります。

○　幼児期に絵本を読んでもらった経験が少なかった保護者が、子どもたちへ絵本をどのように読み聞かせ、ふれあいの時間を持てばよいのか戸惑いを感じている場合もあります。

○　年齢に応じた絵本の楽しみ方や、読み聞かせの仕方を知りたいという保護者の声が聞かれます。

○　鳥取市では、平成１５年度からブックスタート事業（注２）を実施し、保護者が赤ちゃんに絵本を通して語りかけ、親子で楽しくあたたかな時間を過ごせるよう、子育て支援の一環として読書活動の推進に取り組んでいます。

　これにより、絵本に関心の高い家庭だけでなく、すべての赤ちゃんと保護者に親子のふれあいの大切さなどのメッセージを伝えています。また、さまざまな家庭の事情により健康診査が未受診だった家庭にも訪問して、メッセージとともに絵本を手渡しています。

○　ブックスタート事業の実施状況

　６か月児健診の対象者のうち９９％以上に読み聞かせと絵本のプレゼントができています。（受診率：R４　９８．７％、R５　９９．１％、R６　９９．２％）未受診者には訪問等で絵本を手渡し、絵本を届けることができています。（配布率：R４　９９．６％、R５　９９．８％、R６　９９．８％）

○　読み聞かせの大切さを知るきっかけづくり

　おやこ健康手帳（母子健康手帳）交付時や乳幼児健康診査、地区サークル等の地域性に応じて機会を捉え、絵本の読み聞かせや、親子のふれあいの大切さを伝えています。

○　ブックスタートフォローアップ事業の実施

鳥取市では令和５年度からブックスタートフォローアップ事業を実施しています。1歳台の大切なことばや認知面の育みの支援はもちろんのこと、親子が絵本を通し、ふれあいの時間を持つことで、子どもたちの心が育まれる体験を家庭で増やしてほしいとの願いのメッセージを添えて、１歳６か月健康診査時に絵本を手渡しています。

【これからの取組】

○ 読み聞かせの大切さの啓発

おやこ健康手帳（母子健康手帳）交付時や乳幼児健康診査、地区サークル等の機会を通して、引き続き絵本の読み聞かせや、親子のふれあいの大切さを伝えていきます。また、テレビや DVD、スマートフォンなどが与える子どもへの影響についても保護者へ啓発していきます。

○ ブックスタート事業の継続

鳥取市のすべての赤ちゃんへ絵本をひらく楽しい「体験」とともに「絵本」を届けます。ブックスタート事業に関わる保健師、図書館司書（注３）、読み聞かせボランティア等のスタッフは、定期的な連絡会や研修会をもち、連携を取りながら活動の充実を図ります。

（目標値：実施率、配布率９９％以上）

○ 読み聞かせの会や図書の貸出などの地域の情報を積極的に発信

子どもが家庭で手軽に絵本にふれられるよう図書の貸出方法や、図書館・地域の読み聞かせの会の情報を発信します。

○ 「親も子も本に親しむ暮らし」の推進

赤ちゃんの頃から本に親しむことができるように、産後サロンやブックスタートで読み聞かせの場を体験するとともに、ブックスタートパックに含まれる「ブックレット」や絵本の冊子本「ねえよんで」を用いて、家庭での絵本の親しみ方を伝えていきます。

（注２）鳥取市では、６か月児健診の機会に、保健所、図書館、読み聞かせボランティアなどが協力し、絵本を開く楽しい体験とともに絵本を手渡し、親子のふれあいを深めていくことの大切さや、地域で子育てを応援していますというメッセージを伝えている。

（注３）都道府県や市町村の公共図書館等で図書館資料の選択、発注及び受け入れから、分類、目録作成、貸出業務、読書案内などを行う専門的職員。

第2節　地域における子どもの読書活動の推進

（１）図書館の役割

児童サービスの充実

[現状と課題]

○　市立中央図書館を中心に、用瀬図書館・気高図書館の２つの地域図書館及び国府町・福部町・河原町・佐治町・鹿野町・青谷町の６つのコミュニティ施設等図書室、さらに5台の移動図書館車を設置しており、これらの施設等が一体となって市内全域への図書館サービスを実施しています。

○　図書館のコンピュータシステムが各施設の蔵書や利用を一元管理しており、システムと連動した搬送便を巡回することで、どの地域からでも身近な拠点に本が届くシステムを構築しています。この搬送便の巡回は、図書館だけではなく、市内の小・中・義務教育学校や教育センター、大学図書館、市立病院図書室、一部コンビニへも運行しており、インターネット等を通じて予約された本も、届くシステムとしています。

○　子どもたちの読書を支援していくには、「適書を適者に適時に」を心がけることが重要です。子どもたち個々の発達段階に応じて適切な本を手渡すことが、本に興味を持って読み進め、次第に本の選択能力を身に付けることができるようになると期待されています。図書館では、児童用の図書を十分に整備しながら、それぞれの子どもたちの成長に合った本を手渡すことが重要であり、そこでは経験を積んだ司書の役割は欠かせません。児童用図書の整備と担当職員の研修の拡充を図るとともに、おすすめ本のリスト作成や展示などの広報も工夫する必要があります。

○　平成３０年度に児童図書室に郷土コーナーを設けました。郷土の魅力を再発見する講座を開催することにより、郷土への関心を高めます。

○　「第３の居場所」（注４）としての図書館を周知していくため、またさまざまな地域のすべての子どもたちが読書に親しむことができるように、平成３０年度から子ども食堂に団体貸出を始めています。

○　中・高生を対象としたヤングアダルト（YA）（注５）コーナーを設け、図書の収集・提供に努め、利用の拡大を図っています。

○　特別な支援を要する子どもたちへの取組として、対面朗読サービスや点字図書、拡大写本、朗読 CD、拡大読書機、音声ガイド付きパソコン、プレクストーク・ポータブルレコーダー（注６）、音声読書機など、機器や資料の充実に努めています。

○　子どもの読書活動を推進していくためには、地域や家庭との協力が必要です。そのため図書館を中心に、各地域で活動する読み聞かせボランティアの養成や家庭での読み聞かせを学ぶ講座の開設に長年取り組んでおり、現在では、多くの受講者が各地域や学校で活動をしています。また、ボランティア同士がレベルアップや交流を深めることを目的に、情報交換や意見交換を行う読み聞かせボランティア交流会も実施しています。

○　ブックスタート事業に続くものとして、乳幼児向けのおはなし会を定期的に実施し、小学生程度までを対象としたおはなし会も毎週実施するなどし、読書の楽しさを伝えています。

○　地区公民館や学校、保育園・幼稚園・認定こども園等への支援として、搬送も含めた団体貸出の実施やレファレンス（注７）支援、資料相談などを行っています。今後も、団体貸出に対応できるだけの図書の整備や搬送、関係機関との職員間の連携などの充実を図っていくことが必要です。

【これからの取組】

○　**資料の充実**

新刊の購入や長く読み継がれてきた児童書の買い替えなど、資料の充実に努めます。

○　職員の専門的知識・技術の向上
　児童サービス（注8）を担当する職員の専門的知識・技術の向上を図るよう努めます。

○　子どもの行事の充実
　読書に親しんだり、郷土に関心を持ったりしてもらえるような行事の開催に努めます。

○　広報の充実
　チラシやホームページなどを通じて、子どもの行事や講演会・研修会の情報を提供するなど、きめ細かな広報に努めます。また、本を選ぶための手助けとなるブックリストなどを作成します。

○　図書の展示や紹介
　図書の展示や紹介を通して、小・中学生の読書へのきっかけづくりに努めます。

○　図書館見学、職場体験の受け入れ
　学校からの図書館見学、中・高生の職場体験を積極的に受け入れます。

○　移動図書館車の巡回貸出などの積極的な実施
　移動図書館車の巡回貸出などを積極的に実施し、幼いころから図書館を身近に感じる機会を提供できるよう努めます。
（目標値：移動図書館車の巡回貸出冊数　R6　９６．０千冊、R１２　１００．０千冊）

○　保育園・幼稚園・認定こども園等への団体貸出やおはなし会等の情報提供
　保育園・幼稚園・認定こども園等に対して、子どもたちがさまざまな絵本に触れることができるよう、団体貸出やおはなし会等の情報提供を行います。

○　利用が困難な子どもたちへの図書館サービスの提供
　令和４年１２月より鳥取市電子図書館を導入し、身体・健康及び環境上の理由で市図書館を利用するのが困難な子どもたちに対しても、読書活動が可能となり、今後も取り組むこととします。

○　多文化サービスの充実
　外国語絵本の充実を図るとともに、在日外国人に対する支援や、異文化を理解するための資料の整備など、多文化サービス（注9）の充実に努めます。

○　講演会や講座の積極的な実施
　子どもの読書に関する講演会や講座を積極的に実施します。

○　ネットワークづくりと計画的な研修の実施
　読み聞かせグループや読書ボランティアなどのネットワークづくりに取り組むとともに、計画的に交流会や研修会を実施します。

○　鳥取県立図書館や県内の公立図書館との連携
　鳥取県立図書館や県内の公立図書館との連携を深め、子どもの読書活動の推進に関する情報の共有に努めます。また、市民への情報提供や子どもの読書活動に関する事業への協力に積極的に取り組みます。

（注４）自宅をファーストプレイス（第一の居場所）、職場や学校をセカンドプレイス（第二の居場所）とし、そのどちらでもない居心地の良い環境や場・空間のことで、例えば図書館、喫茶店、公民館、自治会などの居場所をいう。

（注５）young adults（YA）。子どもと大人の中間に位置する 12 歳から 18 歳の年齢層。

（注６）障がい者用録音資料の再生用プレイヤー。

（注７）図書館が所蔵する資料や情報を用いて、利用者の質問や調査・研究等を援助するサービス。

（注８）子どもに対する図書館サービス。

（注９）民族的、言語的、文化的少数者のための図書館サービス。

（２）児童館、公民館の役割

地域と一体となった取組の推進

１　児童館

[現状と課題]

○　市内には１２の児童館があり、各児童館が絵本を主にしたコーナーを設けて、図書室を気軽に利用できるよう、選書や展示を工夫しながら図書の充実・環境づくりに努めています。

○　随時、乳幼児から高校生までの幅広い子どものための図書や情報の提供、読書の楽しさを広めるための資料の充実に努めています。

○　日頃の職員の読み聞かせをはじめ、３世代交流や保護者会活動などの行事の中で、紙芝居や絵本の読み聞かせを行い、読書の楽しさを伝えています。また移動図書館車の利用をとおして読書への関心を促進しています。

○　保護者が主体となって読書の楽しさを子どもたちに伝えている地域組織（母親クラブ）や児童館職員による「出前児童館」（注 10）を実施しています。

【これからの取組】

○　絵本のある心地よい環境づくりの充実

新刊の購入や長く読み継がれてきた児童書の買い替えなど、蔵書の充実及び図書の展示や紹介等、読書へのきっかけづくりに努めます。子ども読書の日（注 11）や読書週間（注 12）を活用し読書の推進を図りながら、絵本を大切に扱うことを知らせ、絵本に親しむ環境づくりを進めます。

○　地域と一体となった取組の推進

児童館を活動拠点とする地域組織（母親クラブ）や子育てサークル等と連携し、読み聞かせの重要性や読書への関心を高めていきます。また、「出前児童館」で地域の小学校や保育所等と連携を図り、絵本の読み聞かせや絵本を使ったわらべ歌遊び等を行い、絵本や読書への関心を高め、地域と一体となった取組を進めていきます。

２　公民館等

[現状と課題]

○　地区公民館等の図書室の運営や蔵書等については各公民館等によって違いがあります

が、利用者の方が本を身近に感じられるよう努めています。

○　地区公民館において、子どもたちが読書に親しむ諸条件の整備に努めるとともに、子どもの読書活動に対する理解を深める活動に取り組むことが求められています。

○　市立図書館の公共施設への配本サービス、地域への移動図書館車事業は充実してきており、市の読書活動推進の取組や、図書館の便利な利用方法などの情報提供に積極的に取り組む必要があります。

【これからの取組】

○ 子どもが本に親しむことの大切さを伝達

公民館等においても、乳幼児対象の活動の場などで保護者に対して子どもが本に親しむことの大切さを伝えます。

○ 公民館等における子どもの読書活動の推進

地域の読み聞かせボランティア等と連携し、子どもたちへの読み聞かせなど公民館等における子どもの読書活動に積極的に取り組みます。

○ 子どもの読書への関心の向上

各図書館や図書室等との連携を図り、長く読み継がれてきた児童書等の良書や情報を提供することにより、子どもの読書への関心を高めます。

（3）読書ボランティアの役割

本の楽しさを伝える活動の推進

[現状と課題]

○　読書ボランティアは、学校、図書館、児童館、公民館、保育園・幼稚園・認定こども園等地域のこども文庫などで、読み聞かせやおはなし会の実施さらに学校図書館の美化や図書整備の活動をしています。また、その活動は、ブックスタート事業への協力や子育て支援関係機関との連携など多様な領域に広がり、定着してきています。

○　学校、保育園等での活動で、読書ボランティアと受け入れ側が互いに連携・交流を深めていくことが求められています。

○　読書ボランティアの減少など後継者不足が課題になっています。

○　読書ボランティア間のネットワーク推進のために、読み聞かせボランティア交流会を行っていますが、学校、保育園、公民館等とのネットワークについては、地域により格差が見られます。

【これからの取組】

○ きめ細かな研修会の計画的な実施

読書ボランティアの養成講座や活動の多様化に対応したきめ細かな研修会を、図書館の協力を得ながら計画的に実施するよう努めます。

○　地域別交流会への取組の促進
　読書ボランティアと子どもの読書活動に関係する関係機関とのネットワークについて、積極的に進めている地域を参考にし、地域別交流会の取組を促進していきます。

（注 10）児童館職員が地域の保育園や小学校に出掛けて定期的に絵本の読み聞かせ等をする取組。
（注 11）子どもが自主的な読書活動を行う意欲を高めるために国が設置。4 月 23 日。
（注 12）読書活動の普及・推進と出版文化の向上を目標として、公益社団法人読書活動推進運動協議会が設置。
　　10 月 27 日から 11 月 9 日まで。

第３節　学校等における子どもの読書活動の推進

（１）学校の役割

１　学校図書館の環境整備

[現状と課題]

○　テーマごとの配架や学習・行事との関連を図った展示をするなどの工夫により、より一層利用しやすい図書館づくりに努めています。

○　読書への興味が湧くような展示やくつろいで読書ができるスペースを確保するなど、読書を楽しめる環境づくりに努めています。

○　図書館や中学校区等の学校と連携し、蔵書の内容が偏らないように配慮しながら、授業等で利用できる図書の確保やより良い図書資料の選定に努めています。

○　学校図書館の実務を担う学校司書が、全ての小・中・義務教育学校に配置されるよう努めています。

○　学校図書館を活用した校内の取組や、職員間の連携をさらに深める必要があります。

○　読書推進のため、学校図書館運営委員会（注 13）を設けている学校があります。

【これからの取組】

○　魅力ある図書館づくり
「読書センター」「学習センター」「情報センター」の３つの機能をいかし、児童生徒や教職員にとって魅力ある図書館づくりに努めます。また、安心して過ごせる・ほっとして過ごせる「心の居場所」としても位置付け、来館しやすい図書館づくりに努めます。

○　図書資料、情報資料の整備
　子どもたちの「読みたい」「調べたい」という意欲的な読書活動や探究的な学習活動に対応できるよう、図書資料や情報資料の整備に努めます。

○　ネットワークづくりと資料の有効活用
　他校や地域の図書館とのネットワークづくりを進め、学校間の相互貸借など資料の有効活用を図ります。

○ 学校図書館図書標準の達成

学校図書館図書標準（注 14）の達成や計画的な図書の廃棄・更新に努めるために、図書館と連携し、購入する本の内容についても充実を図ります。

○ 学校司書の配置継続

読書活動に関する専門的な知識を有する学校司書の配置の継続に努めます。

○ 校内での職員間の連携

校内での職員間（教職員と司書教諭・学校司書）の連携を深めていきます。

２　読書センター機能の充実

※「読書センター機能」とは：子どもの読書活動を支援し、子どもたちが読書に親しむための手だてを行う役割のこと。（読み聞かせ事業や読書相談、ブックトーク（注 15）、本の紹介など。）

[現状と課題]

○　読書への興味が湧くような本の紹介、イベントの開催など、各学校で読書が好きになるような取組の工夫がなされています。

○　読書活動の習慣化をねらいとした「全校一斉の読書活動」に取り組んでいる学校があります。

○　本に親しみ、読書への関心を高めるため、保護者や地域ボランティアによる読み聞かせが行われています。

○　読書意欲に個人差があるため、意欲をもちにくい子どもへの支援の仕方を工夫する必要があります。

○　動画コンテンツや SNS 等、子どもが多種多様なメディアに触れる機会が増えており、これまで以上に本に親しむ機会を大事にする必要があります。

【これからの取組】

○ 豊かな読書生活につながる活動の継続

一斉読書のみならず、学級文庫の設置や休憩時間における学校図書館の利用促進を行う等、学校全体で読書活動につながる取組を推進します。

○ 地域と一体となった読書活動の推進

ボランティアによる読み聞かせなど、保護者や地域の人々の協力を得ながら、地域と一体となった読書活動を進めます。

○ 委員会活動・学校行事等で読書活動の充実

「子ども読書の日」や「読書週間」に合わせ、学校図書委員会活動や学校行事等で読書活動を推進する取組の充実を図ります。

○ 家庭との連携

読書の大切さを理解し、家庭での読書が習慣化するよう、家庭と連携を取りながら取組

を進めていきます。

○ 魅力的な本との出会いの場の創出
読書に対して意欲をもちにくい子どもも本に親しむことができるよう、読書ボランティア等の関係団体とも連携しながら、魅力的な本との出会いの場をつくっていきます。

○ 校外学習などで図書館利用体験の推進
学校での校外学習などで公共図書館利用の体験を推進します。

３　学習・情報センター機能の充実

※「学習・情報センター機能」とは：学習に必要な図書資料や情報資料を提供するとともに、子どもや教職員の資料相談等に応える役割のこと。

[現状と課題]

○ 児童生徒の１人１台端末の環境下での学びを充実するため、デジタル情報と紙資料の収集や、信頼できる情報の提供に努めています。

○ 学校司書は、司書教諭や各担任と連携して学習に必要な資料の購入・収集を進め、蔵書の充実を図るとともに、図書館や関係機関の資料も活用した学習を支援しています。

○ 学校図書館やその資料を活用した授業はどの学校でもなされていますが、限られた教科や時期の利用である場合があります。また、探し方や調べ方が分からず、十分に活用することができない児童・生徒もいます。

【これからの取組】

○ 児童生徒の読書活動や探究的な学びを支えながら、情報収集・選択・活用能力を育成するための取組に努めます。

○ 学習のための情報収集やその情報を活用する情報リテラシーの育成
各図書館の蔵書・新聞等や１人１端末なども活用し、学習のための情報収集やその情報を活用する情報リテラシー（注 16）を育成していきます。

○ 小・中学校9年間を見通した「学校図書館活用計画」
中学校区内での連携を図りながら、９年間を見通した「学校図書館活用計画」（資料Ｐ２３参照）等を作成し、図書を利用した学習が系統的に行われるようにしていきます。

○ 公共図書館との連携の推進
学習のための資料を確保するため、公共図書館との連携をさらに進めます。また、資料の有効活用を図るため、中学校区内の相互貸借を推進します。

４　読書活動に関わる人材育成

[現状と課題]

○ 司書教諭と学校司書が連携して、教職員や保護者の図書館教育に対する認識を高めるよう働きかけています。

○ 鳥取市総合教育センターの研修に「学校司書・司書教諭研修」を位置づけ、両者が参加

する研修を実施することで、司書教諭並びに学校司書の資質向上を図っています。

【これからの取組】

○　読書活動、図書館教育の理解と学校図書館の活性化

学校内外で読書活動や図書館教育についての理解を深めるとともに、図書館を活用した授業の実践的な積み重ねを進め、学校図書館の活性化を図ります。

○　司書教諭・学校司書の資質の向上

司書教諭や学校司書に対する研修を継続し、資質の向上に努めます。

（注 13）よりよい学校図書館の運営のために、さまざまな意見を出し合い読書活動を組織的、計画的に推進していく委員会。

（注 14）平成５年、学校図書館の図書の整備を図る際の目標として文部省（現文部科学省）が設定。

（注 15）学校などの集団を対象にして、特定のテーマのもとに流れをつくって何冊かの本を紹介し、子どもに読書に対する興味や関心を呼び起こす読書指導。

（注 16）情報及び情報手段を主体的に選択し活用していくための個人の基礎的な資質、情報活用能力。

（２）保育園・幼稚園・認定こども園等の役割

[現状と課題]

○　想像力を育てるために、子どもの興味・関心を高め、発達段階に合わせた読み聞かせを推進しています。

○　子どもがいつでも自由に絵本にふれることができるよう、絵本コーナーを充実させたり、移動図書館車の巡回貸出や団体貸出を利用したりする園もあります。

○　多くの園では、読み聞かせやおはなし会が行われており、読書ボランティア等と連携しながら、読書環境づくりに努めています。

○　家庭にある絵本の冊数や図書館利用には個人差があります。各園では、読書に親しみ、幼児期の親子のふれあいを促すために絵本の貸出を行っています。併せて、新刊の購入や読み継がれてきた絵本の買い替え等、蔵書の充実が必要です。

【これからの取組】

○　図書資料の確保と絵本の展示の工夫や環境整備

絵本との出会いを進めるために新刊の購入や絵本の買い替え等を行い蔵書の充実を図り、絵本の展示方法の工夫や環境整備に努めます。絵本を大切に扱うことを知らせ、絵本に親しむ環境づくりを進めます。

○　図書館、読書ボランティアと連携した魅力的な本との出会いの場の創出

読み聞かせボランティアによるおはなし会、団体貸出や移動図書館車の活用等を行い、絵本の魅力や楽しさを味わうことができるよう、さまざまな本との出会いの場をつくります。

○　保育園・幼稚園・認定こども園等と、小学校・義務教育学校の連携

小学校・義務教育学校と連携を図りながら保育園・幼稚園・認定こども園等における読書活動を推進します。

○ 講演会や講座の積極的な参加・実施・保護者啓発

絵本・読み聞かせ等に関する講演会や講座に積極的に参加し、選書等職員の資質向上を図ります。また、便りの発信や掲示の工夫等、保護者啓発に努めるとともに、読書に関する講演会等を実施し、保護者の絵本や読書への関心を高めていけるよう努めます。

○「親も子も本に親しむ暮らし」の推進

家庭での読み聞かせは、絵本への関心を高めるだけでなく情緒の発達を促すことから、保護者が子育てを楽しむためにも、「親も子も本に親しむ暮らし」を推進します。

（３）特別支援の必要な子どもの読書活動の推進

[現状と課題]

○　ICT 機器の活用等により、障がいの実態や必要性に応じた読書活動支援を行うよう努めています。

○　外国語での支援が必要な子どもや保護者も増えています。（多文化サービス）

【これからの取組】

○ 障がいの実態や必要性に応じた、きめ細かな読書活動の支援

障がいの実態や必要性に応じ、一人ひとりきめ細かな読書活動を支援していきます。

○ 家庭と学校の連携の促進

家庭と学校の連携を進めていきます。

○ 多文化サービスを充実させるため、公共図書館との連携を促進

多文化サービスを充実させるため、公共図書館との連携を進めていきます。

第４節　生涯を通して本に親しむ暮らしの推進（生涯読書）

※　生涯読書とは：乳幼児のころから本に親しみはじめ、学生時代を経て大人になっても読書の習慣を継続し、どの年代においても生活の中で本に親しむこと。

[現状と課題]

○　年齢が上がるにしたがい、図書館等の利用は減少傾向にあります。（下記図参照）
（目標値：１５歳以下の１人あたりの貸出冊数　Ｒ６　４．４冊、Ｒ１２　５．２冊）

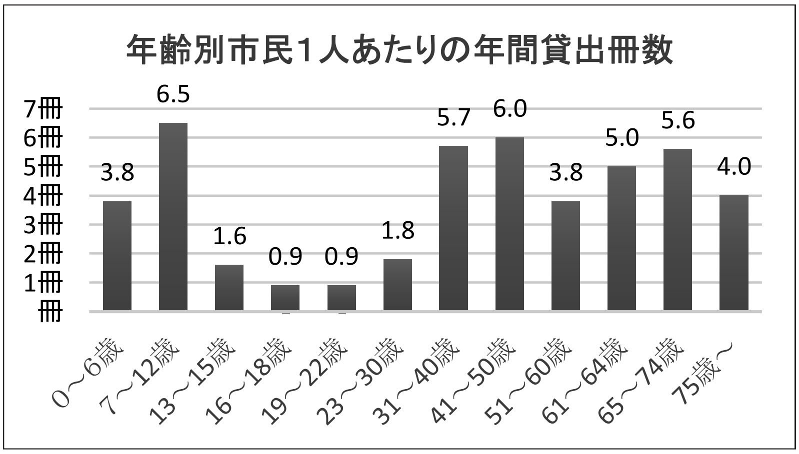
○　『本を読み、メッセージでつながる』まちの小さな本棚として、鳥取市中央図書館内談話コーナー、鳥取駅構内に「まちライブラリー」、用瀬駅の待合室には「もちがせ駅なか文庫」を設置し、市民が自由に利用できる“本のひろば”を構築しています。

【これからの取組】

○　**中･高校生へ向けて生涯読書へつながる取組を推進**
本から離れていく年代の中・高校生へ向けて生涯読書へつながる取組を推進します。

○　**保護者への｢本に親しむ暮らし｣を啓発**
子どもだけでなく保護者へも、「本に親しむ暮らし（生涯読書)」を啓発していきます。

令和６年度の鳥取市の図書館及びコミュニティセンター図書室等の利用状況（※電子書籍は除く）



第５節　啓発・広報等の推進

[現状と課題]

○　家庭や地域、公共機関や民間団体などが連携しながら、子どもの読書活動の重要性や意義について啓発・広報を図るため、「子ども読書の日」「こどもの読書週間（注18)」「文字・活字文化の日（注 19)」「読書週間」などに合わせて、子どもの本に関する講座やおはなし会を行っています。

○　QR コード付きおすすめ絵本リストやデータを保育園･幼稚園･認定こども園､図書館、公民館等に配布し、おすすめ絵本リストを広報し活用を図りました。

○　子どもの読書活動に対して、市民に十分に理解してもらうため、その重要性や意義などについて広報・普及を充実させる必要があります。

【これからの取組】

○　おはなし会や講演会などの全市的な取組の展開

「子ども読書の日」「こどもの読書週間」「文字・活字文化の日」「読書週間」を中心に、おはなし会や講演会など、現在行っている様々な取組を、さらに全市的に展開することにより、子どもの読書活動の輪を一層広げていきます。

○　広報紙､関係機関のホームページ､マスコミなどでの広報の充実

とっとり市報などの広報紙や関係機関のホームページ、ケーブルテレビなどを活用して、子どもの読書活動の重要性や意義について積極的に広報していきます。

○「生涯を通して本に親しむ暮らし(生涯読書)」の啓発を推進

「生涯を通して本に親しむ暮らし（生涯読書)」の啓発を推進していきます。

○　家庭教育支援事業での啓発

家庭教育支援事業（注 20）を通して、読書の大切さ、読書のための環境づくりについて継続して啓発していきます。

○　絵本リストの拡充

新たに０歳～２歳のおすすめ絵本リストを追加し、より早い時期からの読み聞かせを啓発します。

（注 18）子どもたちにもっと本を！との願いから、公益社団法人読書推進運動協議会が設置。4 月 23 日から 5 月 12 日まで。

（注 19）国民の間に広く文字・活字文化について関心と理解を深めるようにするために国が設置。10 月 27 日。

（注 20）社会教育の１つの領域であり、子どもを有する保護者の家庭教育を支援するための事業。鳥取市では、市内にある全ての小学校・義務教育学校や開催を希望した保育園等にて「子育て・親育ち講座」を実施している。

第６節　推進体制の整備

［現状と課題］

○　平成１８年から「鳥取市子どもの読書活動推進委員会」（以下「推進委員会」という。）を設置し、平成１９年３月に第１次「鳥取市子どもの読書活動推進計画」を策定しました。

○　平成１９年度からは毎年推進委員会を開催し、推進計画の進捗状況の検証を行い、成果と課題等について意見交換を実施しています。

○　第４次推進計画において、推進委員会が推奨する３歳から小学校低学年向けまでの「おすすめ絵本リスト」の作成を行いました。

【これからの取組】

○　関係機関の役割の周知

園長会、校長会、地区公民館長会等を通して推進計画の周知を図ることで、関係機関がそれぞれの役割について理解を深め、子どもの読書活動の推進につなげます。

○　読書ボランティアの活動状況の把握とつながりあう環境の整備

読書ボランティアの活動状況を把握するとともに、受け入れ施設やその活動条件等を取りまとめ、スムーズにつながりあう環境を整えます。

○　関係各課の連携と総合的な政策を展開

各関係課の取組を情報共有しながら、読書活動の推進について総合的な施策展開ができるよう努めます。

○　推進計画に基づいた推進状況の検証と具体的な取組等の検討の徹底

今後も推進委員会を開催し、推進計画に基づく計画の推進状況の検証、具体的な取組等についての検討を徹底します。

資　　料

１．鳥取市子どもの読書活動推進体制・・・・・・・・・・・・・・・１８

２．鳥取市内図書館等関係機関一覧・・・・・・・・・・・・・・・・１９

３．鳥取市立図書館インターネット予約システム　フロー図・・・２０

４．図書館のネットワーク　フロー図・・・・・・・・・・・・・・・２１

５．児童図書の蔵書・貸出等に関する資料・・・・・・・・・・・・・２２～２３

６．鳥取市立〇〇〇中学校区　図書館利用教育体系表・・・・・・２４

７．子どもと読書に関する受賞一覧・・・・・・・・・・・・・・・・２５～２６

８．子育て状況・絵本を取り巻く状況について・・・・・・・・・・２７～２８

９．令和６年度　言葉に親しむ環境づくりに関するアンケート結果
（こども発達支援センターによる調査結果）・・・・・・・・・２９～３０

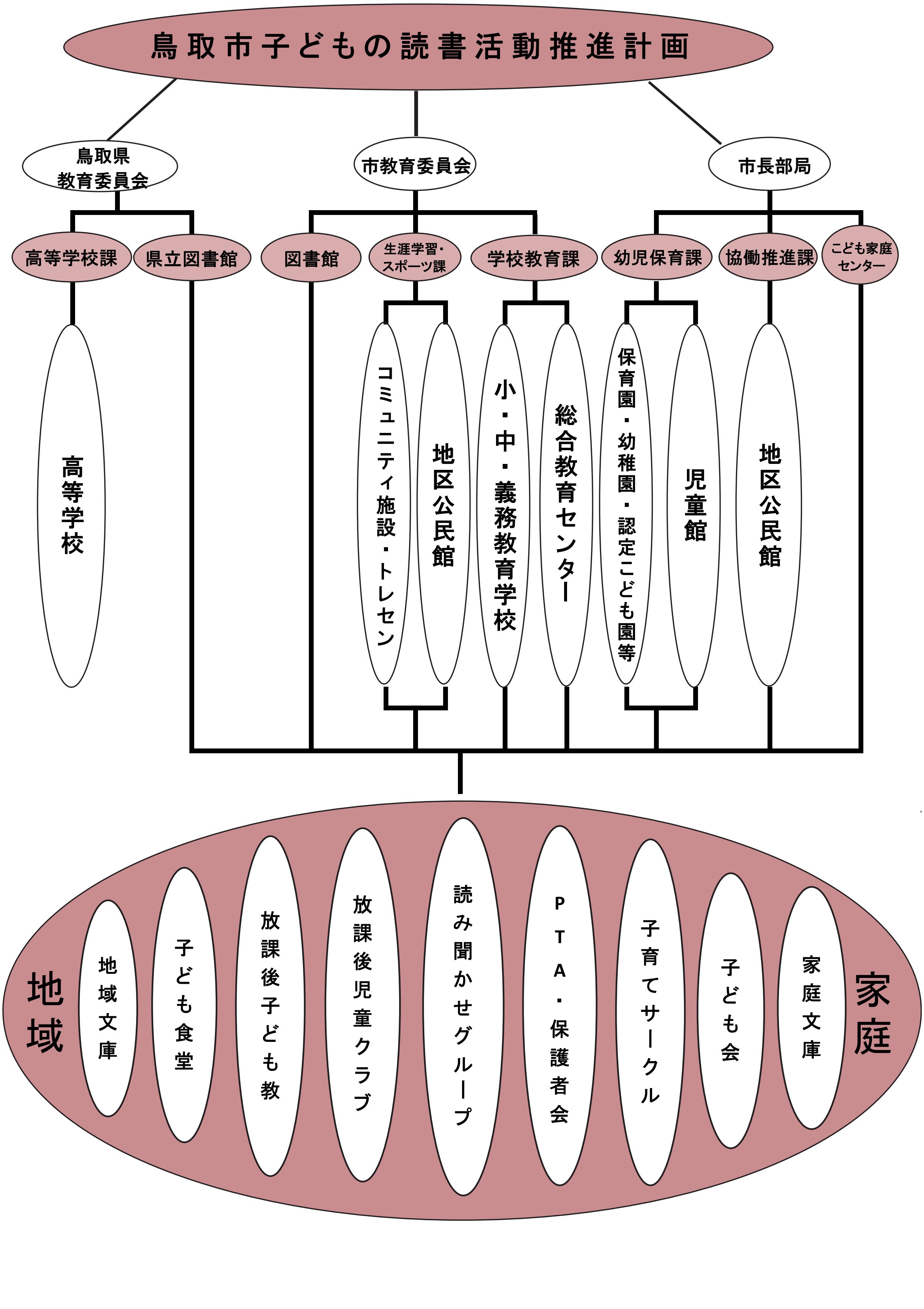
10．鳥取市子どもの読書活動推進委員会設置要綱・・・・・・・・・３１

11．鳥取市子どもの読書活動推進委員会委員名簿・・・・・・・・・３２

12．絵本リスト作成部会委員名簿・・・・・・・・・・・・・・・・・３３

13．子どもの読書活動の推進に関する法律・・・・・・・・・・・・３４～３６

１．鳥取市子どもの読書活動推進体制



２．鳥取市内図書館等関係機関一覧

鳥取市内にある図書館

図書館名	所在地	休館日	電話番号
鳥取市立中央図書館	680-0845 鳥取市富安二丁目138－4	火曜日・毎月最終木曜日	0857-27-5182
鳥取市立用瀬図書館	689-1201 鳥取市用瀬町用瀬832	〃	0858-87-2702
鳥取市立気高図書館	689-0334 鳥取市気高町北浜三丁目121-6	〃	0857-37-6036
鳥取県立図書館	680-0017 鳥取市尚徳町101	毎月第2木曜日・毎月末日	0857-26-8155
鳥取大学附属図書館	680-8554 鳥取市湖山町南4-101	公式HPを参照	0857-31-5672
鳥取環境大学情報 メディアセンター	689-1111 鳥取市若葉台北1-1-1	日・春夏冬の各期休業中の 土曜日・毎月末日・祝日	0857-38-6700

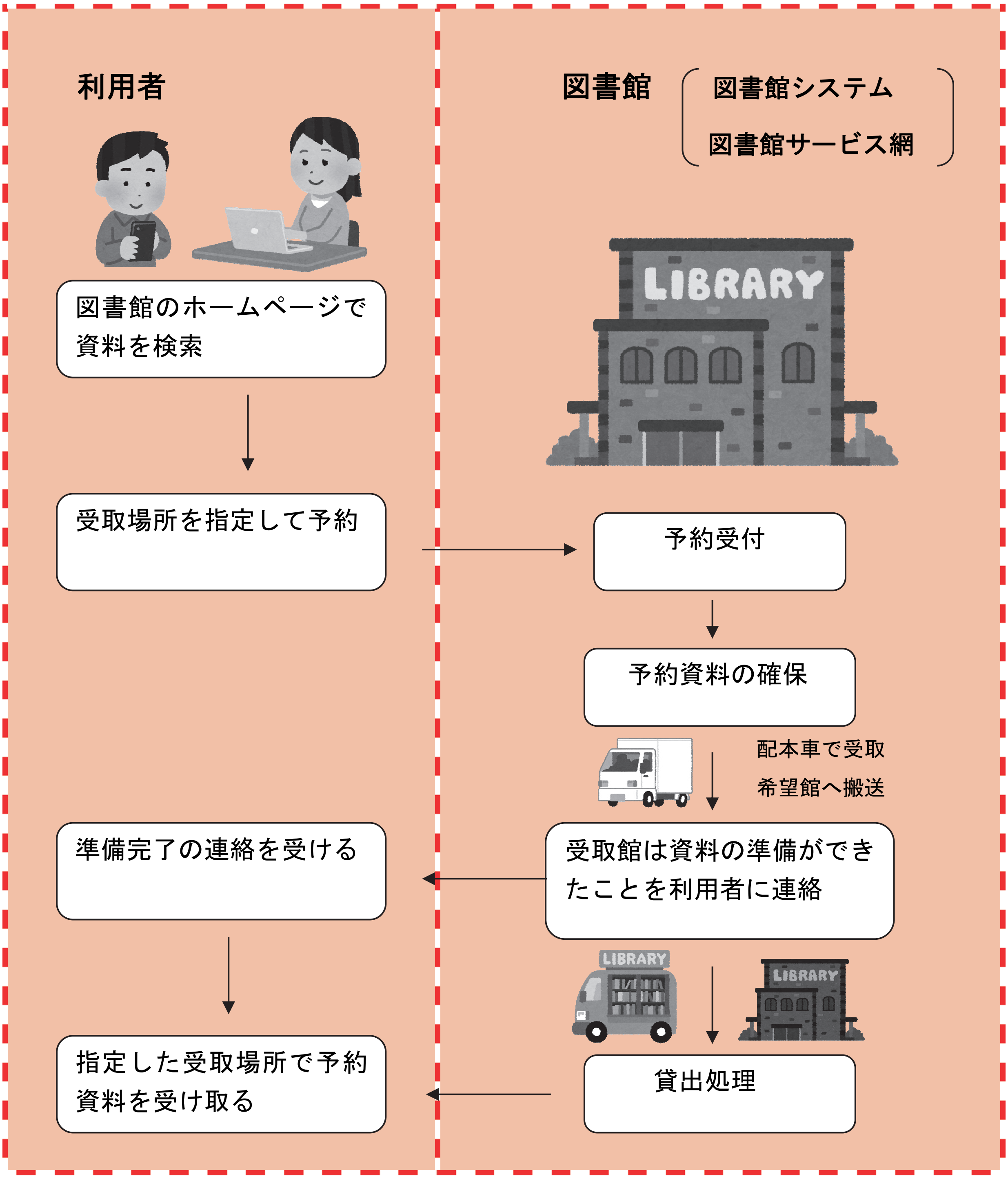
コミュニティ施設等図書室一覧

名前	所在地	休館日	電話番号
国府町コミュニティセンター	680-0152 鳥取市国府町庁380	祝日・振替休日 年末年始	0857-29-4005
福部町コミュニティセンター	689-0102 鳥取市福部町細川1338	祝日、年末年始	0857-30-8667
河原町コミュニティセンター	680-1221 鳥取市河原町渡一木277-1	祝日、年末年始	0858-76-3123
佐治町コミュニティセンター	689-1313 鳥取市佐治町加瀬木2542-1	祝日、年末年始	0858-88-0228
鹿野町農業者 トレーニングセンター	689-0405 鳥取市鹿野町鹿野342	祝日、年末年始	0857-84-2131
青谷町コミュニティセンター	689-0501 鳥取市青谷町青谷667	月曜日・祝日、年末年始	0857-85-1141

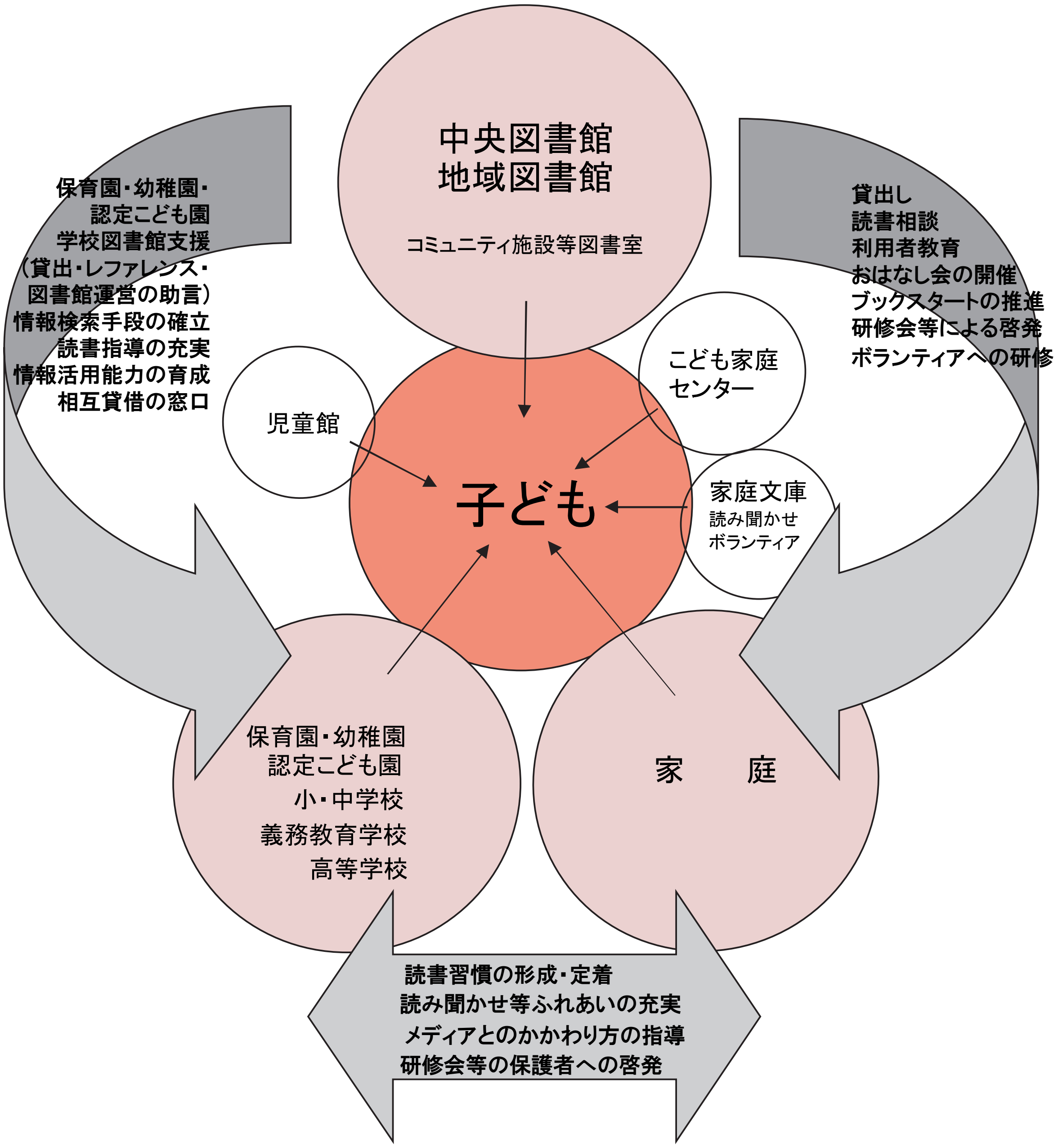
※ 年末年始:12/29から1/3まで

※ 各地区公民館・児童館もご利用できます。

3．鳥取市立図書館インターネット予約システム　フロー図



４．図書館のネットワーク　フロー図



※　図書館サービス網は、中央図書館を核に、市内の図書館等との相互協力体制を確立する図書館網を形成すると共に、　他市町村、県、国の図書館組織や館種の異なる図書館組織と協力関係をつくることにより、広範な図書館ネットワーク網を形成することです。

５．児童図書の蔵書・貸出等に関する資料

図書館児童書蔵書冊数（令和６年３月末）

令和6年度鳥取市教育要覧より

	中央図書館	移動図書館車 5台	用瀬図書館	気高図書館	コミュニティ施設等 図書室6室
蔵書冊数	127,061	17,941	18,266	18,996	49,969

児童書の貸出推移

年　度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
中央図書館	180,911	208,370	207,364	209,434	214,623
用瀬図書館	11,791	15,302	12,310	11,998	12,169
気高図書館	25,812	28,478	25,659	25,700	25,855
コミュニティ施設等 図書室6室	15,595	21,110	18,915	14,972	15,323
合　　計	234,109	273,260	264,248	262,104	267,970

平成30年度にコンピュータ･システムを更新
平成29年度から貸出冊数が10冊から15冊に変更

幼稚園（公立のみ）

令和7年度幼児保育課

	児童書数(冊)	幼稚園数(園)	園児数(人)	一園当たりの平均蔵書数（冊）	園児一人当たりの平均冊数(冊)
公　立	4,021	3	110	1,340.3	36.6

認定こども園

令和7年度幼児保育課

	児童書数(冊)	認定こども園数(園)	園児数(人)	一園当たりの平均蔵書数（冊）	園児一人当たりの平均冊数(冊)
私立	26,455	25	3,666	1,058.2	7.22

保育園

令和7年度幼児保育課

	児童書数(冊)	保育園数(園)	園児数(人)	一園当たりの平均蔵書数（冊）	園児一人当たりの平均冊数(冊)
公立	21,657	20	1,443	1,082.9	15.01
私立	6,344	8	650	793	9.76
地域型保育事業所	3,068	12	140	255.67	21.91

児童館

令和7年度幼児保育課

	児童書数(冊)	児童館数(館)	登録児童数(人)	一館当たりの平均蔵書数（冊）	登録児童一人当たりの平均冊数(冊)
児童館	10,064	12	632	838.7	15.9

（参考）令和7年現在、児童館は全館一般社団法人ともにへの指定管理事業となっている。

学校図書館における児童・生徒一人当たり平均冊数

令和6年度鳥取市教育要覧

	調査年月	図書総数	学校数	児童・生徒数	平均蔵書数	一人当たりの平均冊数
小学校	令和6年5月	290,787	39	8,454	7456.1	34.4
	令和2年5月	286,023	39	9,073	7333.9	31.9
中学校	令和6年5月	138,037	13	4,220	10618.2	32.7
	令和2年5月	132,709	13	4,413	10208.4	30.3
義務教育学校	令和6年5月	44,141	4	744	11035.3	59.3
	令和2年5月	62,494	4	801	15623.5	76.6

小・中・義務教育学校における読み聞かせ等、ボランティア導入校

令和7年度調べ

	小学校	中学校	義務教育学校
令和6年度	39校(39校中)	2校(13校中)	3校(4校中)
令和2年度	38校(39校中)	3校(13校中)	4校(4校中)

6．鳥取市立○○○中学校区　図書館利用教育体系表

	情報収集		情報処理・分析・活用	情報発信
小1	**自分の知りたい情報をみつける** ○いろいろな本があることを知る。 ○探したい本を見つける ○本の置き場所がわかる。 ○図鑑について知る。		○調べたいページへたどりつく。	○読んでわかったことを絵や文で表すことができる。
小2	○調べた本の名前をメモする ○本が仲間分けされていることを知る	○調べる本には目次があることを知る	○いくつかの本にあたって情報を集める	○調べてわかったことを発表する
小3	○本の分類を知る ○国語辞典について知る。 ○百科事典について知る	**目的や意図にあった情報をみつける** ○目次や索引の使い方を知る。 ○分類を意識して本を探す。 ○国語辞典の使い方がわかる。 ○百科事典の使い方がわかる。	○本に書いてあることの中から ○自分が知りたい情報を見つける	○調べたことをまとめて発表する。
小4	○情報源を明らかにする ○参考図書について知る。 ○漢字事典について知る。 ○パンフレット・雑誌・新聞の 特徴を知る。	○参考図書の使い方がわかる。 ○漢字事典の使い方がわかる。 ○パンフレット・雑誌・新聞から 必要な情報を読み取る。	○調べたことから疑問が生まれ、 さらに調べる。 ○自分の考えを持つ。	○調べたことをまとめて自分の考えを発表する。
小5	○調べる方法を選択する。 ・インタビュー ・インターネット ・図書資料・新聞 ・パンフレット　など	○インタビュー名人になろう。 ・電話のかけ方。 ・手紙の書き方。	○インタビューができる ○グラフや図表をよむ。	**情報の読み手から書き手へ** ○相手にわかりやすく発表する。
小6	○どのように調べたら知りたいことが わかるか予測し、調べ方の選択をする ○年鑑について知る。 ○著作権について学ぶ。	○年鑑の使い方がわかる。	○調べたことから色々な推測をする。	○調べたことを発信する。 ○調べたことを活かす。
中1	○様々な情報源やその特性を知り、 集めたい情報に応じて選ぶ。 ○著作権などの情報モラルについて知る	○統計資料の読み取りに慣れ、 活用する。	○情報を比較したり、組み合わせしたり して自分なりの新たな情報を創り出す	○内容や相手に応じた効果的な表現 伝達方法を工夫する。 ○著作権などの情報モラルに配慮して 情報発信する。
中2		○様々な情報源から 自分が必要とする情報を選び出す。 ○情報収集のマナーを知る。 ・礼状の書き方。 ・メモの取り方。（5W1H）	○問題意識をもつ	○電話のかけかた。 義務教育の9年間での目標 ○自分で調べそれを相手に伝えるため、 表現したレーポートの作成ができる。
中3		○目的に応じて、様々な情報源から 適切な情報・資料を選び出し、活用する。		

７．子どもと読書に関する受賞一覧〔鳥取市内のもの〕

表彰年度	区　分	被表彰団体	賞の名称
12	小学校	気高町立浜村小学校	子どもの読書活動優秀実践校 文部科学大臣表彰
13	小学校	鳥取市立岩倉小学校	子どもの読書活動優秀実践校 文部科学大臣表彰
14	団体	鳥取家庭文庫連絡会	子どもの読書活動優秀実践団体 文部科学大臣表彰
14	高等学校	鳥取県立鳥取西高等学校	子どもの読書活動優秀実践校 文部科学大臣表彰
16	団体	児童書を楽しむ会 「つくしんぼ」	子どもの読書活動優秀実践団体 文部科学大臣表彰
16	小学校	鳥取市立鹿野小学校	子どもの読書活動優秀実践校 文部科学大臣表彰
17	中学校	鳥取市立用瀬中学校	子どもの読書活動優秀実践校 文部科学大臣表彰
18	図書館	鳥取市立気高図書館	子どもの読書活動優秀実践図書館 文部科学大臣表彰
19	高等学校	鳥取県立鳥取工業高等高校	子どもの読書活動優秀実践校 文部科学大臣表彰
20	高等学校	鳥取県立鳥取湖陵高等学校	子どもの読書活動優秀実践校 文部科学大臣表彰
21	小学校	鳥取市立醇風小学校	子どもの読書活動優秀実践校 文部科学大臣表彰
21	高等学校	鳥取敬愛高等学校	子どもの読書活動優秀実践校 文部科学大臣表彰
21	図書館	鳥取市立中央図書館	子どもの読書活動優秀実践図書館 文部科学大臣表彰
22	中学校	鳥取市立気高中学校	子どもの読書活動優秀実践校 文部科学大臣表彰
22	団体	ねぇよんでの会	子どもの読書活動優秀実践団体 文部科学大臣表彰
23	特別支援学校	鳥取県立鳥取聾学校	子どもの読書活動優秀実践校 文部科学大臣表彰
24	団体	絵本グループ「あじさい」	子どもの読書活動優秀実践団体 文部科学大臣表彰
25	中学校	鳥取市立桜ヶ丘中学校	子どもの読書活動優秀実践校 文部科学大臣表彰

表彰年度	区　分	被表彰団体	賞の名称
26	小学校	鳥取市立神戸小学校	子どもの読書活動優秀実践校 文部科学大臣表彰
28	団体	絵本の読み聞かせ 「ぞうさんの会」	子どもの読書活動優秀団体 文部科学大臣表彰
29	高等学校	鳥取県立鳥取西高等学校	子どもの読書活動優秀実践校 文部科学大臣表彰
30	特別支援学校	鳥取大学附属特別支援学校	子どもの読書活動優秀実践校 文部科学大臣表彰
31 (R1)	中学校	鳥取市立東中学校	子どもの読書活動優秀実践校 文部科学大臣表彰
2	小学校	鳥取市立浜村小学校	子どもの読書活動優秀実践校 文部科学大臣表彰
2	中学校	鳥取市立河原中学校	子どもの読書活動優秀実践校 文部科学大臣表彰
2	個人	山田　節子	子どもの読書活動優秀団体 (個人)文部科学大臣表彰
3	図書館	鳥取市立気高図書館	子どもの読書活動優秀実践図書館 文部科学大臣表彰
4	小学校	鳥取市立西郷小学校	子どもの読書活動優秀実践校 文部科学大臣表彰
4	高等学校	学校法人鶏鳴学園 青翔開智中学校・高等学校	子どもの読書活動優秀実践校 文部科学大臣表彰
6	中学校	鳥取市立国府中学校	子どもの読書活動優秀実践校 文部科学大臣表彰
6	特別支援学校	鳥取県立鳥取養護学校	子どもの読書活動優秀実践校 文部科学大臣表彰
6	図書館	鳥取市立中央図書館	子どもの読書活動優秀実践図書館 文部科学大臣表彰
7	高等学校	鳥取県立鳥取青谷高等学校	子どもの読書活動優秀実践校 文部科学大臣表彰

※　子どもの読書活動優秀実践図書館・団体(者)文部科学大臣表彰

平成13年12月に成立した「子どもの読書活動の推進に関する法律」に伴い設けられた表彰制度で、平成14年度から実施している。子どもの読書を推進する活動が顕著であり優秀と認められる団体(者)の活動実践をたたえて文部科学大臣が、4月23日(子ども読書の日)に表彰する。

8．子育て状況・絵本を取り巻く状況について

（乳幼児健診問診・アンケートより抜粋）

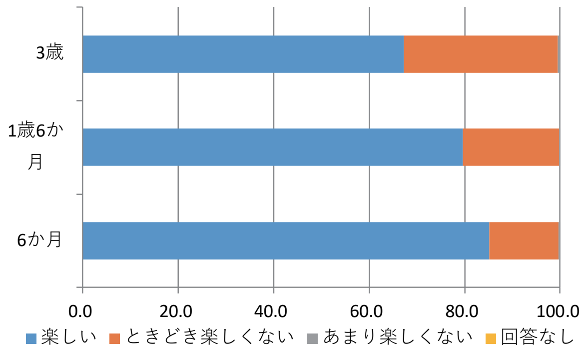
実施主体：こども家庭センター

①「育児を楽しいと思いますか？」

（%）

	6か月	1歳6か月	3歳
楽しい	85.1	79.6	67.3
ときどき楽しくない	14.5	20.1	32.1
あまり楽しくない	0.4	0.3	0.6
回答なし	0.0	0.0	0.0
計	100	100	100

※令和６年度　各乳幼児健診受診・アンケートより抜粋



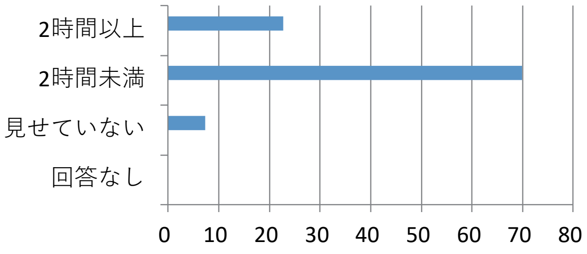
*子どもが成長するにつれて、育児が『楽しい』と感じる保護者の割合が減る傾向にある。
育児への不安がある保護者へは、乳幼児健診の場等で声をかけるなどの支援を行っている。

②「テレビ・ビデオはどのくらいみていますか？」

（%）

	割合（%）
2時間以上	22.8
2時間未満	69.9
見せていない	7.3
回答なし	0.0
計	100

※令和６年度　1歳6か月児健診受診・アンケートより抜粋



*『2時間以上』の回答、『見せていない』の回答は変化が少なく横ばい状態で、テレビ・スマートフォン等のメディアとの付き合い方については、乳幼児健診等で啓発しており、引き続き行っていく。

★参考資料

（%）

	R３	R４	R５
2時間以上	21.2	22.0	22.1
2時間未満	71.8	70.1	71.6
見せていない	7.0	7.9	6.3
計	100	100	100

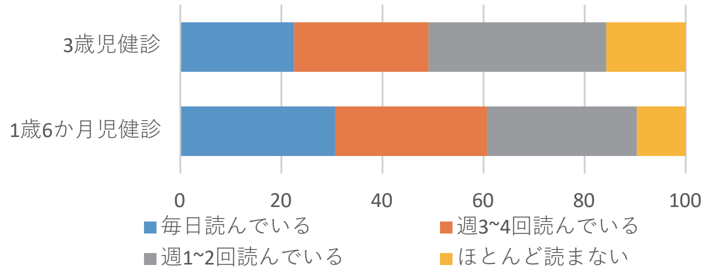
※令和３、４、５年度　1歳6か月児健診受診票より抜粋

③「お子さんに絵本を読んであげていますか？」

割合（%）

	1歳6か月児健診	3歳児健診
毎日読んでいる	30.6	22.6
週3~4回読んでいる	30.1	26.6
週1~2回読んでいる	29.6	35.1
ほとんど読まない	9.7	15.7
計	100	100

※令和６年度　1歳6か月児健診、3歳児健診受診票より抜粋



*「ほとんど読まない」回答が増加傾向にある。**1歳6か月と3歳を比較すると3歳で**「ほとんど読まない」という割合が高い。就園率も高くなっており、日中に保護者と児が過ごす時間の減少等が関連していることも考えられる。

参考資料　（%）

	1歳6か月児健診			3歳児健診		
	R3	R４	R５	R３	R４	R５
毎日読んでいる	36.8	33.6	34.5	22.8	23.4	21.5
週3~4回読んでいる	30.3	30.5	30.3	27	27	26.5
週1~2回読んでいる	24.6	26.7	28	35.8	33.9	37.5
ほとんど読まない	8.3	9.2	7.2	14.4	15.7	14.5
計	100	100	100	100	100	100

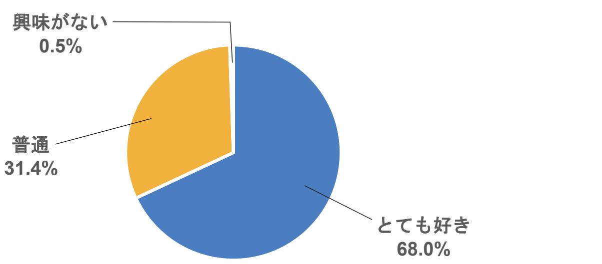
※令和3、4、5年度　1歳6か月健診、3歳児健診受診票抜粋

9．令和６年度　言葉に親しむ環境づくりに関するアンケート結果

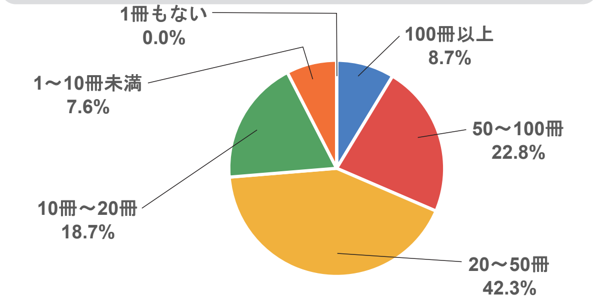
調査時期:令和7年10月
実施主体:こども発達支援センター

参加保育所・園 53　　対象園児数　1376　　回答数　369　　回収率　26.8 %

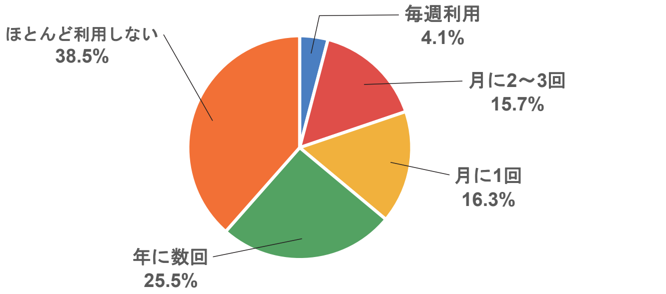
1　本を読んだり読み聞かせが好き



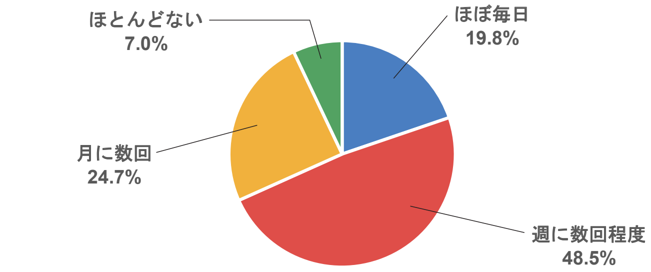
2　絵本の冊数



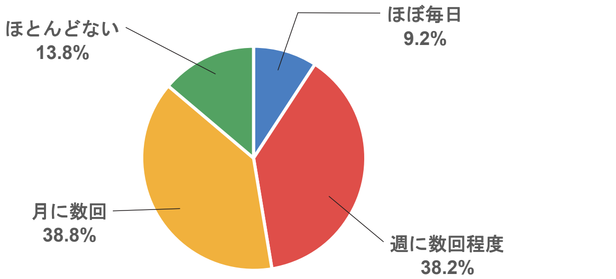
3　図書館・図書室の利用



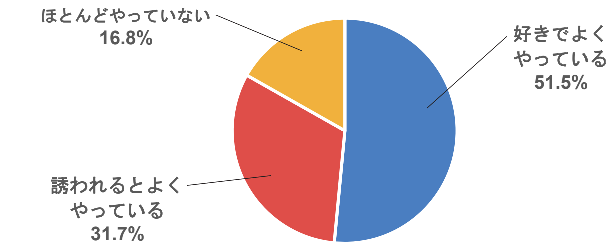
4　読み聞かせの頻度



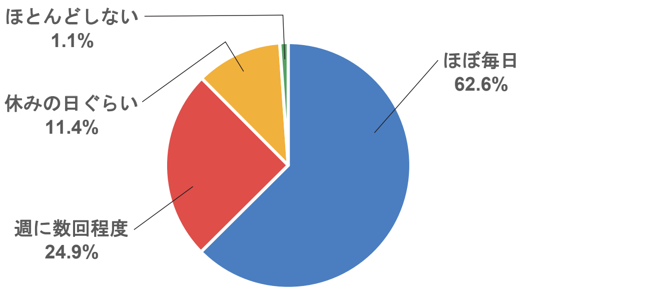
5　ことば遊びの頻度



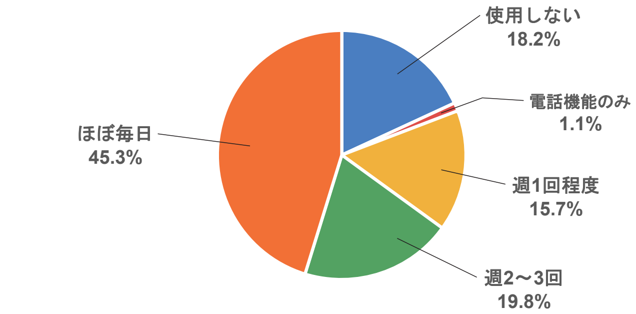
6　手紙やカードを書いたり渡したりすること



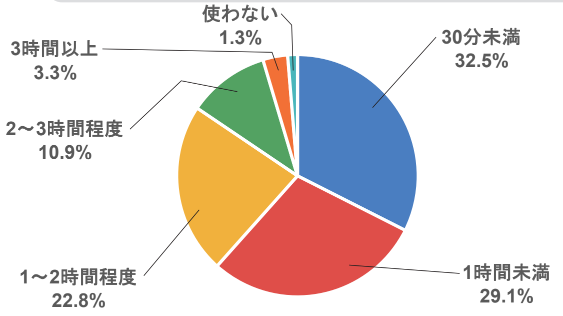
7　お子様と一緒に遊ぶ頻度



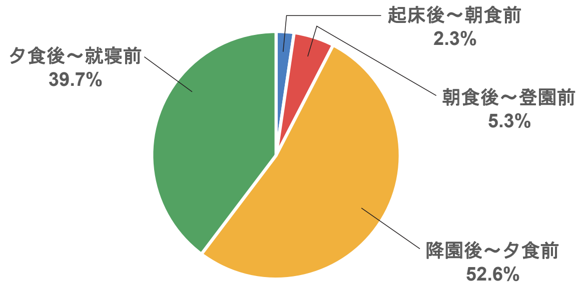
8　お子様がスマホ・タブレットを使う頻度



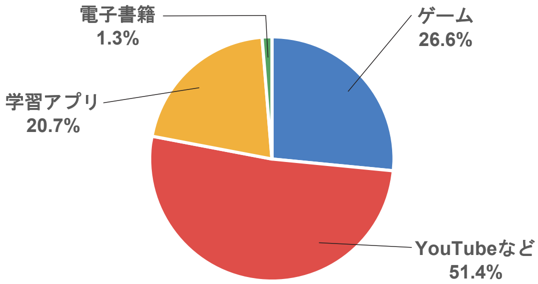
9　スマホ・タブレットを使っている時間



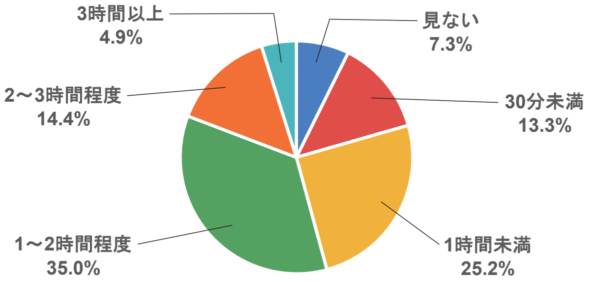
10　スマホ・タブレットの使用時間帯



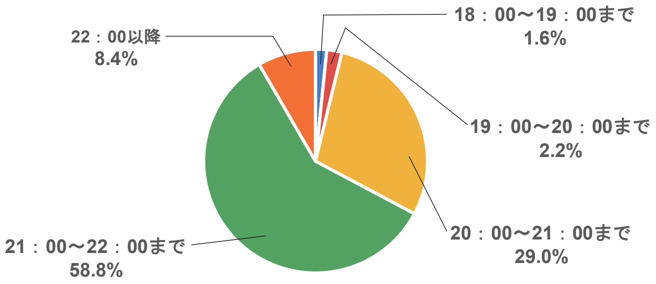
11　タブレットの使用内容



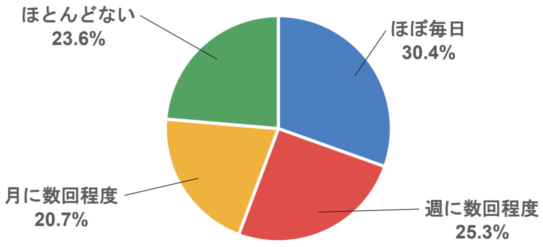
12　テレビ・DVDの視聴時間



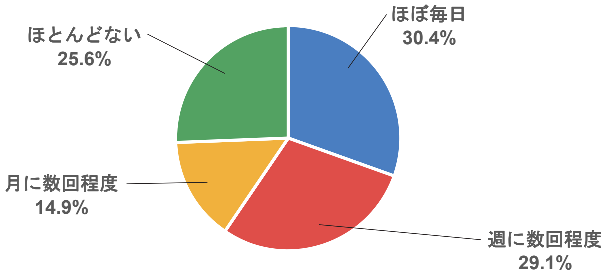
13　就寝時刻



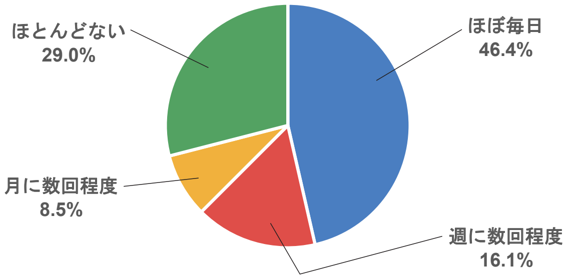
14　読書状況（父母）



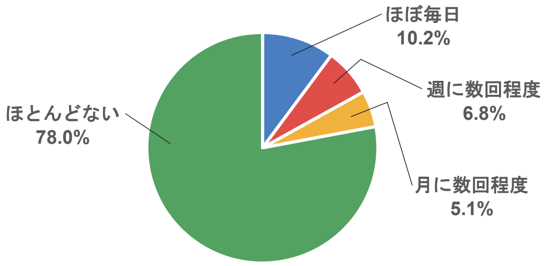
14　読書状況（きょうだい）



14　読書状況（祖父母）



14　読書状況（その他）



10. 鳥取市子どもの読書活動推進委員会設置要綱

（目的及び設置）
第１条　鳥取市のすべての子どもたちが家庭・地域・学校等で読書に親しむことができるよう総合的・計画的な施策の推進を図ることを目的として、鳥取市子どもの読書活動推進計画を策定し、計画の進捗管理を行うために、鳥取市子どもの読書活動推進委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

（所掌事項）
第２条　委員会は、次に掲げる事項を処理する。
（１）鳥取市における子どもの読書活動推進に係る施策に関すること。
（２）鳥取市子どもの読書活動推進計画（子どもの読書活動の推進に関する法律第９条第２項に定める子どもの読書活動の推進に係る施策についての計画）の策定に関すること。
（３）その他、必要な事項に関すること。

（組織）
第３条　委員会は、委員１５人以内で組織する。
２　委員は、学識経験のある者、読書活動等実践者及び行政関係機関の職員のうちから、教育長が委嘱する。
３　委員は、再任されることができる。

第４条　委員会に委員長１人、副委員長１人を置き、委員の互選によりこれを定める。
２　委員長は、委員会を総括し、委員会を代表する。
３　副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるときまたは委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

（会議）
第５条　委員会の会議は、委員長が必要に応じて招集し、議長となる。
２　委員に特別の事情がある場合には、代理者が出席することができる。
３　委員長は、必要に応じて委員以外の者の出席を求め、意見を聴くことができる。

（任期）
第６条　委員の任期は、２年とする。ただし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

（庶務）
第７条　委員会の庶務は、鳥取市教育委員会事務局生涯学習・スポーツ課において処理する。

（委任）
第８条　この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員会が別に定める。

附　則
この要綱は、平成１８年６月１２日から施行する。
附　則
この要綱は、平成１９年４月１日から施行する。
附　則
この要綱は、平成２７年４月１日から施行する。

11. 鳥取市子どもの読書活動推進委員会委員名簿

令和７年７月現在

	氏 名	団体・所属所名	職名等	選出団体・所属所名
委員長	山 田　節 子	児童書を楽しむ会つくしんぼ	会　員	市民読書グループ
副委員長	伊達　季代子	鳥取家庭文庫連絡会	副代表	家庭文庫連絡会
委　員	宮 城　博 美	江山学園ＰＴＡ	会　長	鳥取市小学校ＰＴＡ連合会
	麻 木　美 紀	美和保育園	園　長	鳥取市公立保育園会
	田 中　信 恵	ルーテル幼稚園	園　長	鳥取市私立幼稚園・認定こども園協会
	横 山　茂	小鷲河地区公民館	館　長	鳥取市公民館連合会
	中村　亜希子	鳥取緑風高等学校	司書教諭	鳥取県高等学校図書館教育研究会東部支部
	野 田　洋 美	中ノ郷中学校	司書教諭	鳥取市中学校教育研究会図書館教育部会
	白 岩　美 香	明徳小学校	司書教諭	鳥取市小学校教育振興会図書館教育部会
	奥 田　愛 梨	こども家庭センター	保健師	
	中 原　善 子	幼児保育課	主　任	
	米 村　立 郎	学校教育課	主幹兼 指導主事	
	三 村　柚 妃	中央図書館	主　事	

〔順不同・敬称略〕

12. 絵本リスト作成部会委員名簿

令和７年７月現在

	氏 名	団体・所属所名	選出団体・所属所名（役職名）	部会委員期間
委員	山　田　節　子	児童書を楽しむ会つくしんぼ	市民読書グループ	令和６年６月～
	伊　達　季　代　子	鳥取家庭文庫連絡会	家庭文庫連絡会	令和６年６月～
	麻　木　美　紀	美和保育園	鳥取市公立保育園会	令和７年７月～
	田　中　信　恵	ルーテル幼稚園	鳥取市私立幼稚園・認定こども園協会	令和６年６月～
	白　岩　美　香	明徳小学校	鳥取市小学校教育研究会 図書館教育部会	令和７年７月～
	奥　田　愛　梨	こども家庭センター		令和７年７月～
	中　原　善　子	幼児保育課		令和７年７月～
	三　村　柚　妃	中央図書館	鳥取市立図書館	令和７年７月～

〔順不同・敬称略〕

	氏 名	団体・所属所名	選出団体・所属所名（役職名）	部会委員期間
委員	岩　永　尚　子	もちがせ保育園	鳥取市公立保育園会	令和６年１０月 ～令和７年２月
	亀　谷　知　子	佐治小学校	東部小学校教育研究会図書館 教育部会	令和６年１０月 ～令和７年２月
	山　村　裕　子	こども家庭センター		令和６年１０月 ～令和７年２月
	西　平　裕　子	幼児保育課		令和６年１０月 ～令和７年２月
	角　野　綾　香	中央図書館	鳥取市立図書館	令和６年１０月 ～令和７年２月

〔順不同・敬称略〕

13. 子どもの読書活動の推進に関する法律

平成十三年十二月十二日　法律第百五十四号

（目的）

第一条　この法律は、子どもの読書活動の推進に関し、基本理念を定め、並びに国及び地方公共団体の責務等を明らかにするとともに、子どもの読書活動の推進に関する必要な事項を定めることにより、子どもの読書活動の推進に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、もって子どもの健やかな成長に資することを目的とする。

（基本理念）

第二条　子ども（おおむね十八歳以下の者をいう。以下同じ。）の読書活動は、子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものであることにかんがみ、すべての子どもがあらゆる機会とあらゆる場所において自主的に読書活動を行うことができるよう、積極的にそのための環境の整備が推進されなければならない。

（国の責務）

第三条　国は、前条の基本理念（以下「基本理念」という。）にのっとり、子どもの読書活動の推進に関する施策を総合的に策定し、及び実施する責務を有する。

（地方公共団体の責務）

第四条　地方公共団体は、基本理念にのっとり、国との連携を図りつつ、その地域の実情を踏まえ、子どもの読書活動の推進に関する施策を策定し、及び実施する責務を有する。

（事業者の努力）第五条　事業者は、その事業活動を行うに当たっては、基本理念にのっとり、子どもの読書活動が推進されるよう、子どもの健やかな成長に資する書籍等の提供に努めるものとする。

（保護者の役割）

第六条　父母その他の保護者は、子どもの読書活動の機会の充実及び読書活動の習慣化に積極的な役割を果たすものとする。

（関係機関等との連携強化）

第七条　国及び地方公共団体は、子どもの読書活動の推進に関する施策が円滑に実施されるよう、学校、図書館その他の関係機関及び民間団体との連携の強化その他必要な体制の整備に努めるものとする。

（子ども読書活動推進基本計画）
第八条　政府は、子どもの読書活動の推進に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画（以下「子ども読書活動推進基本計画」という。）を策定しなければならない。
2　政府は、子ども読書活動推進基本計画を策定したときは、遅滞なく、これを国会に報告するとともに、公表しなければならない。
3　前項の規定は、子ども読書活動推進基本計画の変更について準用する。

（都道府県子ども読書活動推進計画等）
第九条　都道府県は、子ども読書活動推進基本計画を基本とするとともに、当該都道府県における子どもの読書活動の推進の状況等を踏まえ、当該都道府県における子どもの読書活動の推進に関する施策についての計画（以下「都道府県子ども読書活動推進計画」という。）を策定するよう努めなければならない。
2　市町村は、子ども読書活動推進基本計画（都道府県子ども読書活動推進計画が策定されているときは、子ども読書活動推進基本計画及び都道府県子ども読書活動推進計画）を基本とするとともに、当該市町村における子どもの読書活動の推進の状況等を踏まえ、当該市町村における子どもの読書活動の推進に関する施策についての計画（以下「市町村子ども読書活動推進計画」という。）を策定するよう努めなければならない。
3　都道府県又は市町村は、都道府県子ども読書活動推進計画又は市町村子ども読書活動推進計画を策定したときは、これを公表しなければならない。
4　前項の規定は、都道府県子ども読書活動推進計画又は市町村子ども読書活動推進計画の変更について準用する。

（子ども読書の日）
第十条　国民の間に広く子どもの読書活動についての関心と理解を深めるとともに、子どもが積極的に読書活動を行う意欲を高めるため、子ども読書の日を設ける。
2　子ども読書の日は、四月二十三日とする。
3　国及び地方公共団体は、子ども読書の日の趣旨にふさわしい事業を実施するよう努めなければならない。

（財政上の措置等）
第十一条　国及び地方公共団体は、子どもの読書活動の推進に関する施策を実施するため必要な財政上の措置その他の措置を講ずるよう努めるものとする。
附則
この法律は、公布の日から施行する。

子どもの読書活動の推進に関する法律に対する附帯決議

政府は、本法施行に当たり、次の事項について配慮すべきである。

一　本法は、子どもの自主的な読書活動が推進されるよう必要な施策を講じて環境を整備していくものであり、行政が不当に干渉することのないようにすること。

二　民意を反映し、子ども読書活動推進基本計画を速やかに策定し、子どもの読書活動の推進に関する施策の確立とその具体化に努めること。

三　子どもがあらゆる機会とあらゆる場所において、本と親しみ、本を楽しむことができる環境づくりのため、学校図書館、公共図書館等の整備充実に努めること。

四　学校図書館、公共図書館等が図書を購入するに当たっては、その自主性を尊重すること。

五　子どもの健やかな成長に資する書籍等については、事業者がそれぞれの自主的判断に基づき提供に努めるようにすること。

六　国及び地方公共団体が実施する子ども読書の日の趣旨にふさわしい事業への子どもの参加については、その自主性を尊重すること。

鳥取市子どもの読書活動推進委員会

おすすめ絵本リスト

第２弾絵本リスト作成にあたって

～ 絵本を取り入れた子育て ～

　この度、第５次鳥取市子どもの読書活動推進計画を作成するにあたって、０歳児、１歳児、２歳児向けの絵本リストがほしいとの声が方々からあがりました。前回作成した３歳児～小学校低学年向けの絵本リストが、保護者をはじめ関係機関から好評を得ていた結果の要望だったのでしょう。私達はその声を受けて、新たなメンバーで絵本部会を立ち上げ、乳幼児の発達を考えながら絵本リストを作成しました。

　かねてより鳥取市は、ブックスタート事業において０歳児、１歳児、２歳児向けの絵本リスト「ねえよんで」の冊子を赤ちゃん親子に配布しています。絵本リストに載っている絵本を手に取り、読み聞かせを楽しむ親子が「ゆっくり　ゆったり　にっこり」の温かな時間が過ごせることを願っての子育て支援です。

　鳥取市に生まれた子はもちろん、その子を育てる親の笑顔が増えることを願ってやみません。この度作成した絵本リストは、乳幼児親子のみならず、乳幼児が過ごすであろう各関係機関にも大いに活用していただきたいと思います。そして絵本を取り入れた子育ての幸せを、私達とともに伝えてくださいますようお願いいたします。

鳥取市子どもの読書活動推進委員会

委員長　**山田　節子**

0歳向け

がたんごとんがたんごとん	福音館書店
安西水丸 / 作	

「がたん　ごとん　がたん　ごとん」とリズミカルな繰り返しと「のせてくださーい」と伸びやかな言葉の響きの中に、すっかり身体を委ねて楽しむことでしょう。

どうぶつのおかあさん	福音館書店
小森厚 / 文 , 薮内正幸 / 絵	

動物の母親が、子どもを連れ歩く様子が描かれています。
口にくわえたり、だっこやおんぶをしたり。たくさんの動物の母親がいろんな形で子どもを運びます。

くだもの	福音館書店
平山和子 / 作	

ぶどうにりんご……次々とみずみずしい果物の絵が描かれています。ページをめくると「さあ　どうぞ」と食べられる状態の果物が。思わず絵本に手が伸び、よだれも出てきてしまうほど。

じゃあじゃあびりびり	偕成社
まついのりこ / 作	

赤ちゃんが暮らしの中で出会うものが描かれています。
「じどうしゃ　ぶーぶー　いぬ　わんわん」リズム感のある音の響きを身体中で楽しんでくれるでしょう。

いないいないばあ	童心社
松谷みよ子 / 文 , 瀬川康男 / 絵	

およそ日本中の赤ちゃんが体験しているしぐさが絵本のかたちで表現されています。３つのことばで、実体験も是非。是非親子で楽しみましょう。

もこもこもこ	文研出版
たにかわしゅんたろう / 作 , もとながさだまさ / 絵	

表紙をめくったら「しーん」とひとこと、次の頁の「もこ」次は「にょき」。文章のことばと絵の色、デザインに引き込まれてしまうこと、間違いなしです。赤ちゃん絵本の定番です。

おつきさまこんばんは	福音館書店
林明子 / 作	

どの頁も夜の空。赤ちゃんにとっては不思議でしょうね、何がおこってるのかしら？って！夜の空を経験するのは、赤ちゃん本人が生後６か月とか。少し大きくなってからでしょうね。

おつむてんてん	金の星社
なかえよしを / 作 , 上野紀子 / 絵	

赤ちゃんと一緒についしてしまうしぐさを絵本で表現しています。「ねずみくんのチョッキ」のコンビ、なかえよしを・上野紀子の作品。大人同士、いろんな動物になっても楽しめます。

0歳向け

おさかないっぱい	福音館書店
増田純子 / 作	
	ページいっぱいに、色とりどりのおさかなが「いっぱい」描かれています。絵を見ているだけで、水の中をのぞいているような気持になれる絵本です。親子で「どのおさかなが好き？」「こっちにもいたね」と会話を広げやすい絵本です。

かおかおどんなかお	こぐま社
柳原良平 / 作	
	いろいろな「かお」がユーモラスでシンプルなイラストで描かれています。「かなしいかお」「おこったかお」「えがお」など、感情や表情が分かりやすく紹介されています。読みながら親子で「同じ顔してみよう」と遊べるのも楽しいです。

もぐもぐがじがじ	福音館書店
中野明美 / 文 , 大島妙子 / 絵	
	食べることに興味を持ち始める０歳児からぴったりの絵本です。動物や人が「もぐもぐ」「がじがじ」と食べている様子を、リズミカルな言葉と楽しい絵で描いています。赤ちゃんが好きな「食べる音」がテーマなので、自然と笑顔になります。

赤ちゃんと絵本

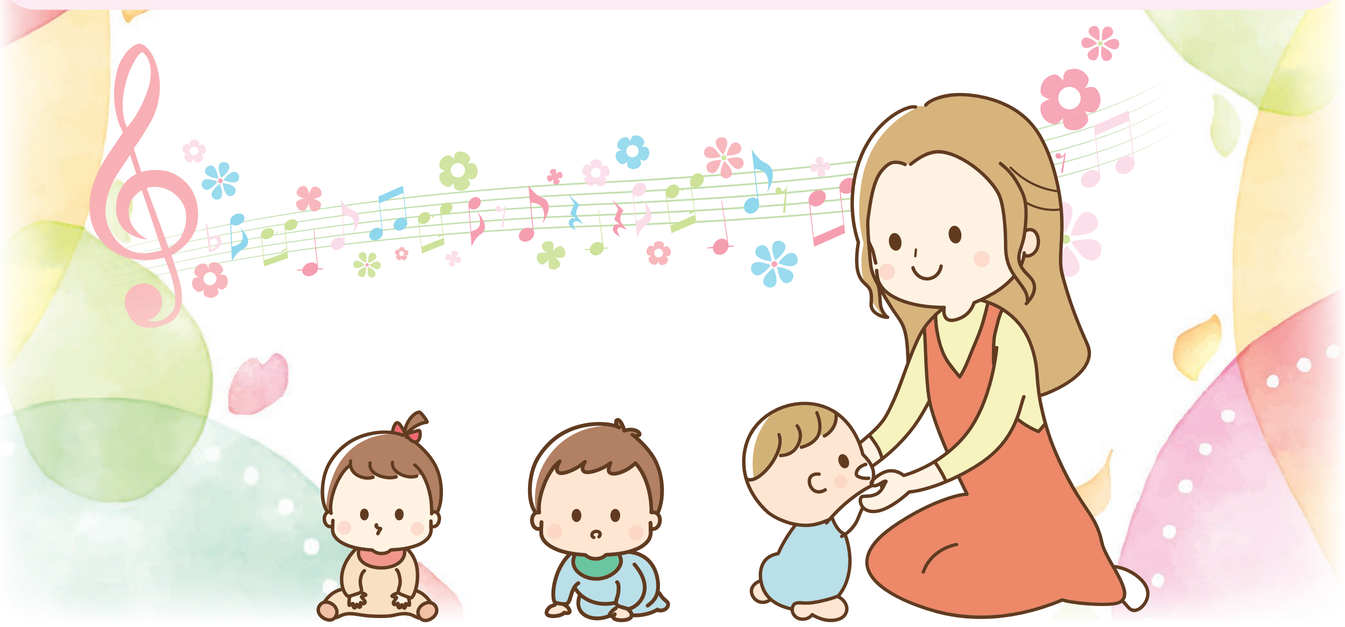
　赤ちゃんは、リズム感のある言葉がちりばめられている絵本が大好き。体のあちこちを動かして、言葉の音を楽しみます。その姿を見ているだけで周りの大人に笑みがこぼれます。大好きな大人に生の声で語りかけられる温かな時間は、親子の愛着の気持ちが深まるのです。

　ゆっくりと目を合わせながら読んであげてください。

赤ちゃんとわらべうた

　わらべうたには、幼い子どもにとって気持ちの良いものがたくさん詰まっています。シンプルなメロディであるがゆえに、聞く耳に心地良いのです。

　目と目を合わせ、体をさすったりつついたり、肌の触れ合いをしながら、わらべうたを楽しんでみませんか。

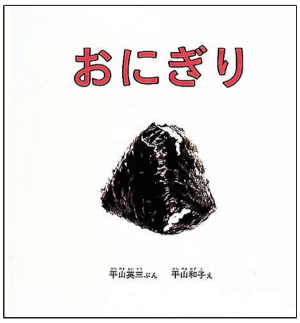


1歳向け

いただきますあす	福音館書店
わたなべしげお / 文 , おおともやすお / 絵	

　まるで、くまくんと一緒に食べているようですし、食べることが大好きになってくれる絵本です。汚れることを気にしないで楽しく食べることが大事であることを教えてくれます。
　そしていつか、こぼさないで食べられるようになっていく成長をみることのできる絵本です。

おにぎり	福音館書店
平山英三 / 文 , 平山和子 / 絵	



　大好きなお母さん、お父さんが、熱々のごはんをにぎにぎしてくれる楽しい絵本です。日本人の愛情たっぷりのおにぎりがどのようにつくられるのかじっくりみて、あつあつふわふわな美味しいおにぎり完成です。「さあ、めしあがれ。」

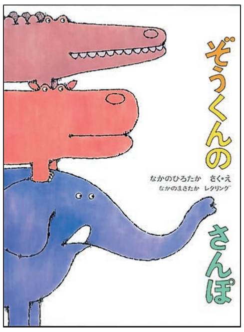
うさこちゃんとどうぶつえん	福音館書店
ディック・ブルーナ / 文・絵 , いしいももこ / 訳	

　大好きなお父さんに「いっしょにくるかい？」と楽しい時間がはじまります。どうぶつにもいっぱい会えて歩いて疲れちゃったけれど次のおでかけも楽しみになる絵本です。「今度は何処にいこうかな？」と楽しい会話が聞こえそうです。どうぞ親子でお話してください。

りんご	童心社
松野正子 / 文 , 鎌田暢子 / 絵	

　繊細に描かれたおいしそうなりんごが次々と。大好きなお母さんが包丁を使ってシャキシャキと皮をむいてくれると、みんな同じ白いりんご。芯と種を取って食べるりんごは「おいしいね」

ぞうくんのさんぽ	福音館書店
なかのひろたか / 作・絵 , なかのまさたか / レタリング	



　今日はいい天気。ごきげんなぞうくんは散歩にでかけます。とちゅうで出会った、「かばくん」や「わにくん」、「かめくん」ものせて、力持ちのぞうくん。どんどん進むと、あっ、いけが。どうなるかな。

たまごのあかちゃん	福音館書店
かんざわとしこ / 文 , やぎゅうげんいちろう / 絵	

　「たまごのなかで　かくれんぼしてる　あかちゃんは　だあれ？」「でておいでよ」と呼びかけると、にわとりやかめ、へびなどたくさんのあかちゃんがでてきました。かくれんぼ、楽しいですよね。みんなもいっしょに「こんにちは」

あがりめさがりめ	こぐま社
ましませつこ / 絵	

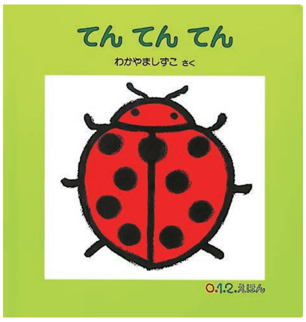
　「あーがりめ　さーがりめ　ぐるりと　まわって　ねーこのめ」むかしから伝えられてきたわらべうたがたくさん。子どもとふれあい、歌って、体を動かして、いっしょに楽しみましょう。

ととけっこうよがあけた	こぐま社
こばやしえみこ / 案 , ましませつこ / 絵	

　わらべうた「ととけっこう　よがあけた　○○ちゃん　おきてきな」と歌いながら、にわとりが動物の子どもたちをつぎつぎに起こしていきます。お子さんを起こすときに、いっしょに歌ってみてはいかがでしょう。

1歳向け

でてこいでてこい	福音館書店
はやしあきこ / 作	
	みどりの葉っぱに「でてこいでてこい」とよびかけて、ページをめくるとカエルが飛び出してきます。鮮やかな色で描かれた形の中から、今度は何が飛び出すのかな。一緒に「でてこいでてこい」

てんてんてん	福音館書店
わかやましずこ / 作	
	てん　てん　てん　てんとうむし。ぐる　ぐる　ぐる　かたつむり。こどもたちも擬音語(ぎおんご)を楽しみながら生き物たちと出会える本。一緒に指さししながら、楽しんでくださいね。

もりのおふろ	福音館書店
西村敏雄 / 作	
	ライオン、ゾウ……つぎつぎに動物たちが森のお風呂にやってきます。動物たちがお風呂をぐるっと囲み、「ごしごししゅっしゅ」とリズミカルな音で背中を洗いっこ。楽しいお風呂時間のきっかけに。

1歳さんと絵本

周りの大人のまねをして、ふりをすることを楽しむ１歳さん。絵本の中の食べ物をつまんでもぐもぐしてみせたり、体を洗うまねを一緒にしたり。

絵本の世界を遊びに変えて、子どもさんのペースでゆったり楽しんでくださいね。

2歳向け

めのまどあけろ	福音館書店
谷川俊太郎 / 文，長新太 / 絵	

子どもたちの目覚めから眠りまでの日常を、リズミカルな言葉とユーモアあふれる絵で表現した絵本です。子どもたちの五感を刺激し、言葉の面白さや好奇心を育む一冊です。

わたしのワンピース	こぐま社
にしまきかやこ / 作	

うさぎの女の子がつくったワンピースが、さまざまな模様に変化していく様子を描いたおはなしです。季節の移り変わりや自然への興味関心を深めることができる絵本です。

しろくまちゃんのほっとけーき	こぐま社
わかやまけん / 作	

子どもたちがホットケーキづくりを疑似体験でき、オノマトペが豊富で子どもと一緒に声に出して楽しめます。ホットケーキが焼き上がる場面は、見るたびに楽しさや満足感を味わえます。

きんぎょがにげた	福音館書店
五味太郎 / 作	

金魚鉢にきんぎょがいっぴき。
……あ、逃げちゃった！
見つけた！と思ったら、
また逃げ出したよ。
きんぎょはどこまで逃げるんだろう……。
追いかけてみよう！

おやすみなさいのほん	福音館書店
マーガレット・ワイズ・ブラウン / 文，ジャン・シャロー / 絵，いしいももこ / 訳	

夜になって日が沈み、動物や乗り物、そして子どもたちも眠りにつきます。
神様に見守られているような安心感があり、読んでいるとだんだん眠くなっていきます。

ねないこだれだ	福音館書店
せなけいこ / 作・絵	

時計を見たら、夜の９時だった！こんなじかんにおきてるのはだれだ？
夜中に遊んでいる女の子が
おばけにされちゃった！
きみも早く寝ないと
おばけにされちゃうよ～！

おんなじおんなじ	こぐま社
多田ヒロシ / 作	

とってもそっくりな仲良しのお友達、ぶたの「ぶう」とうさぎの「ぴょん」。
あれれ、ぼうしもおんなじ、
ズボンもおんなじ、もっているおもちゃまで。
ちがうものも、あるのかな？

2歳さんと絵本

覚えた言葉を使ってコミュニケーションをとる2歳さん。つもりやみたての世界が充実してきます。「よんで　よんで」と読み聞かせをせがみます。
その絵本が同じでも、大好きな１冊に出合えたねと絵本の時間をにっこりと過ごしてくださいね。

3歳向け

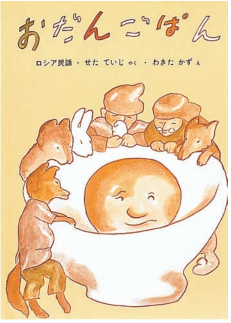
あおくんときいろちゃん	至光社
レオ・レオーニ / 作 , 藤田圭雄 / 訳	

作者のレオーニさんが二人の可愛いお孫さんに色遊びをしながらお話が始まりました。二つの色はどこへ行くのも一緒、何をして遊ぶのも一緒。とうとう一緒になって緑色になりました。遊び疲れて家に帰ることになったのにあおくんの家にも、きいろちゃんの家にも帰れません。泣き出しました……。どうなるのでしょうか。

おおきなかぶ (ロシアの昔話)	福音館書店
A. トルストイ / 再話 , 内田莉莎子 / 訳 , 佐藤忠良 / 画	

「おじいさんがかぶをうえました。あまいげんきのよいとてつもなくおおきなかぶができました。」力を入れて抜きますが抜けません。おばあさんと一緒に「うんとこしょどっこいしょ。」抜けません。おばあさんは孫を、孫は犬を呼んでも抜けません……。
それからどうなったのでしょう。ロシアの昔話、リズミカルなことばの繰り返しが心地よいですね。

おだんごぱん	福音館書店
せたていじ / 訳 , わきたかず / 絵	



おじいさんがおいしいパンを食べたいとおばあさんに頼みました。おばあさんは、最後の粉を集めてパンを作りました。おいしそうなパンができ窓辺に置かれました。気持ちよくなったおだんごパンは転がりはじめ家の外に転がっていきました。おいしい匂いのするおだんごパンはうさぎやくまさんに出会いますが、愉快な歌をうたってのがれました。ところが……。楽しんで読んでください。

かばくん	福音館書店
岸田衿子 / 作 , 中谷千代子 / 絵	

動物園に朝が来ました。
「一番早起きはだーれー。一番ねぼすけはだーれー」と作者の岸田衿子さんはかばの一日をリズミカルな文で始めます。男の子が子亀をつれてやってきた。「かばよりちいさいかばのこーかばのこよりちいさいかめのこーかめよりちいさいものなんだ？」やわらかい中間色を使った絵で描かれていてほのぼのとした絵本ですね。

ぐりとぐら	福音館書店
中川李枝子 / 作 , 大村百合子 / 絵	

のねずみのぐりとぐらが森に食べ物を探しに出かけ、森で大きなたまごを見つけました。お料理することと食べることの大好きな二人は野原でお料理することになりました。何ができあがるのでしょうか。最後まで読んでくださいね。なんか……いい匂いがしてきました。

ぐるんぱのようちえん	福音館書店
西内ミナミ / 作 , 堀内誠一 / 絵	

いつもめそめそ、そして、何もしないゾウのぐるんぱは、みんなが心配してきれいに体を洗い町に働きにでかけることになりました。はじめにつくったのはビスケット。大きいのをつくって叱られ、つぎの靴屋もピアノも超特大きすぎて失敗。しょんぼりしょんぼり……。でも子どもがたくさんのお母さんに出会い子どもたちと遊ぶことによって嬉しくなったぐるんぱ。みんなも楽しく遊んでくれるぐるんぱを見つけてください。

三びきのやぎのがらがらどん (ノルウェーの昔話)	福音館書店
マーシャ・ブラウン / 絵 , せたていじ / 訳	

名前はどれも「がらがらどん」という三匹のやぎがいました。ちいさいやぎ、中くらいのやぎ、大きいやぎがなかよく、草のたくさんある山にでかけることになりました。が、途中の谷川の橋の下に恐ろしいトロルがいます……。やぎたちは草場に行けるのでしょうか……。

しんせつなともだち	福音館書店
方軼羣 / 作 , 君島久子 / 訳 , 村山知義 / 画	

雪のたくさん降るある日、のうさぎは食べ物がなくなったので雪の中を探しに行くことにしました。かぶが、ふたつもおちていました。ひとつだけ食べてひとつをロバさんにもっていってあげました。ロバさんは、見つけたさつまいもを食べていたのでこのかぶをやぎさんへ。困っているお友達に、つぎからつぎへとみんなの親切のかぶが回っていきました。友達おもいの動物さんたちの心あたたまる絵本です。

3歳向け

ちいさなねこ	福音館書店
石井桃子 / 作 , 横内襄 / 絵	

ちいさなこねこが家を出て出会う危険の数々。こねこがさまざまな危険を乗り切る姿に、子どもたちは自分の姿を重ね合わせ、ハラハラしたり、ホッとしたり……。おかあさんねこに助けられ、最後は甘える姿も子どもたちと一緒ですね。親子でねこの気持ちになって楽しめる絵本です。

ティッチ	福音館書店
パット・ハッチンス / 作・絵 , いしいももこ / 訳	

ちいさな男の子のティッチが持っている物は、小さくて一見、役にたたない物のようですが……。小さくても大きな力を生み出す物は、こどもの成長する姿を映し出し、最後のティッチの笑顔に、自信やほこらしさが感じられます。子どもの今を大切にしながら心を育てる絵本です。

てぶくろ（ウクライナ民話）	福音館書店
エウゲーニ・M・ラチョフ / 絵 , うちだりさこ / 訳	

森の中で、おじいさんの落とした手袋に次々と動物たちが入っていきます。だれでも入れる手袋はぎゅうぎゅう詰めではちきれそう。手袋の中は、大きさも個性もさまざまな動物でいっぱいです。動物たちが手袋に入る時のやりとりが楽しい、ほかほかの気持ちになれるおはなしです。

はらぺこあおむし	偕成社
エリック＝カール / 作 , もりひさし / 訳	

小さなたまごからあおむしがうまれました。おなかがぺっこぺこのあおむしは、食べ物を見つけてどんどんどんどん食べてやがては……。あおむしが食べる様子が色鮮やかな絵と楽しい仕掛けで表現され、ラストにはこころ弾む驚きが待っています。成長の不思議さや喜びがつまった仕掛け絵本です。

まりーちゃんとひつじ	岩波書店
フランソワーズ / 文・絵 , 与田準一 / 訳	

まりーちゃんと、友達のぱたぽんとのやりとりが繰り返されます。おんなのこのまりーちゃんとひつじのぱたぽん。考え方や好きな物は、ちがってもずっと一緒。お話の中では、どんどん増えるひつじを数える楽しさも盛り込まれています。仲良しの友達のほのぼのとしたおはなしです。

もりのなか	福音館書店
マリー・ホール・エッツ / 文・絵 , まさきるりこ / 訳	

もりへ、さんぽに出たぼくにいろいろな動物がついてくると、いつのまにか行列ができて……。
動物たちは、どこか人間を思い起こす姿で、自由にさんぽを楽しみます。こどもの自由な空想と現実のはざまのような不思議さが感じられます。ぼくと一緒にもりのなかのさんぽを楽しんでみてくださいね。

わにわにのおふろ	福音館書店
小風さち / 文 , 山口マオ / 絵	

おふろが大好きなわにわに。
わにわにが、おふろを楽しむ様子がリズミカルに表現され、動きを表す音や、なんともいえないわにわにの表情が、笑いを誘います。自由で、気ままなわにわには、見ている子どもたちの心をのびのびとさせてくれます。

私たちからのメッセージ

自分を取り巻く周りの世界への興味関心が、ぐんぐんとひろがり、イメージを広げて遊ぶことが楽しくなってきた３歳の子どもたち。
絵本のページをめくるごとに、おはなしの世界にすうっと引き込まれていきます。
いつのまにか、おはなしの中に出てくる動物や子どもの気持ちになってどきどき、わくわく！イメージの世界がどんどん広がります。繰り返しのことばを一緒に口ずさみながら楽しく読める絵本がいっぱい。心がホッとする読み聞かせのひとときには、「もう一回よんで！」の声と笑顔がこぼれます。

4・5歳向け

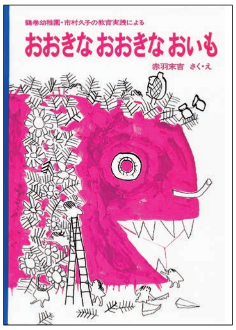
いたずらこねこ	福音館書店
バーナディン・クック / 文 , レミイ・シャーリップ / 絵 , まさきるりこ / 訳	

こねこがはじめてかめをみました。この生き物は何者か。ポンとたたいてみると首が消えてなくなり、勇気を出してもう一度たたいてみると今度は足がなくなり大仰天。好奇心いっぱいのこねこの姿はまるで子どもたちの日常のようで、きっと子どもたちはこねこの気持ちに共感し夢中になることでしょう。

おおかみと七ひきのこやぎ（グリム童話）	福音館書店
グリム［原作］, フェリクス・ホフマン / 絵 , せたていじ / 訳	

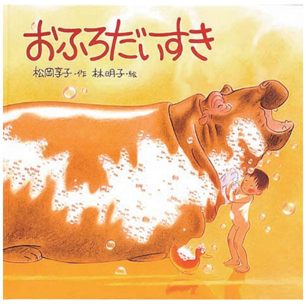
おおかみを家にいれないよう注意しなさい。おかあさんやぎはこやぎたちにそういって森に食べ物を探しにでかけます。こやぎたちは、おおかみの「しわがれ声」や「黒い足」を見抜いて、おおかみを追い払います。しかしおおかみは再びこやぎたちの家にやってきて……。語り継ぎたいグリム童話のひとつです。

おおきなおおきなおいも	福音館書店
赤羽末吉 / 作・絵	



楽しみにしていたいもほり遠足が、雨が降り延期になってしまいました。残念がる子どもたちは大きな紙においもを描きはじめます。紙をつなげてつなげて、おいもの絵はどんどん大きくなっていって……。大きなおいもをめぐる子どもたちの空想がつまった絵童話です。

おふろだいすき	福音館書店
林明子 / 絵 , 松岡享子 / 作	

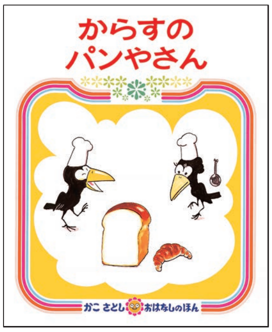


ぼくが大好きなおふろにあひるのプッカをつれて入ると、おふろの中から、ぼか、ざぁーっ。おおきなかめがういてきて……。
個性豊かな生き物が次々と登場して、お風呂の中がどんどんにぎやかになっていきます。読んでいる子どもたちも思わずお風呂に入りたくなってしまう絵本です。

かいじゅうたちのいるところ	冨山房
モーリス・ゼンダック / 作 , じんぐうてるお / 訳	

マックスはおおかみのぬいぐるみを着ていたずら放題。怒ったお母さんに寝室に放り込まれ、そこから、かいじゅうたちのいるところへ長い旅が始まります。短い文章と不思議な魅力をもった挿し絵で子どもの好奇心や冒険心とともに、最終的には、親子の愛情も伝わってくる絵本です。

からすのパンやさん	偕成社
かこさとし / 作	



からすのパンやさんに４羽の赤ちゃんカラスが生まれました。子育てで大忙しのパン屋さん、子どもたちのおやつは焦げパンや生焼けパン。そのパンが友達の間で人気になり……。ページいっぱいに出てくる楽しいパンたち、一羽一羽表情の違うカラスたちに、子どもたちと一緒に盛り上がること間違いなしです。

くまのコールテンくん	偕成社
ドン＝フリーマン / 作 , まつおかきょうこ / 訳	

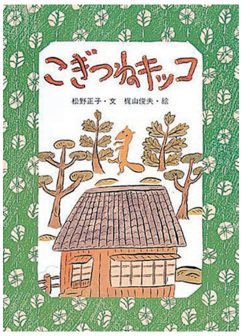
コールテンくんはデパートのおもちゃ売り場で、だれかが買ってくれるのを待っています。服のボタンを探しに夜のデパートの中を大冒険する場面では、コールテン君と一緒にハラハラドキドキすることでしょう。「ともだち」というやさしいあたたかい気持ちも溢れてくるお話しです。

げんきなマドレーヌ	福音館書店
ルドウィッヒ・ベーメルマンス / 作・画 , 瀬田貞二 / 訳	

パリの寄宿学校に 12 人の女の子が暮らしていました。いつも２列に並んで、パンを食べ、歯をみがき、ベッドに入ります。中でもいちばんおちびさんで、いちばん元気なのがマドレーヌ。ところが、ある晩、わーわー泣き出し……。パリの街並みの中繰り広げられるかわいいおはなしです。

４・５歳向け

こぎつねキッコ	童心社
松野正子 / 文 , 梶山俊夫 / 絵	



山の幼稚園の裏山に住んでいるこぎつねのキッコ。母さんと二人でこっそり幼稚園をのぞくのが大好き。夏休み、子どもたちがいない幼稚園で、砂場やブランコでひとり遊ぶキッコ。好奇心旺盛なキッコの様子やしぐさは、子どもを山の幼稚園へ誘います。

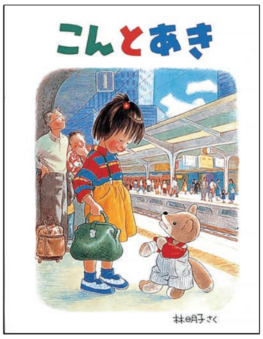
キッコの愛らしさを伝えている絵もほのぼの。

こすずめのぼうけん	福音館書店
ルース・エインズワース / 作 , 石井桃子 / 訳 , 堀内誠一 / 画	

つばさを動かすことができるようになったこすずめが、飛ぶ練習を始めるところからお話が動き出します。嬉しくて飛び続けるこすずめが、休む場所を求めて次々と鳥の巣をたずねます。が、鳴き声が違うために入れてもらえません。日も暮れて疲れきったこすずめの前に……。

子どもは、こすずめの心細さと安堵感を味わうことでしょう。

こんとあき	福音館書店
林明子 / 作	



あきのおもり役としてやってきたキツネのぬいぐるみのこん。

あきが成長するにつれて、こんは古くなり、とうとう腕がほころびてしまいます。その腕を直してもらうため、汽車に乗っておばあちゃんの住むさきゅうまちへ。わくわく、ハラハラ初めての二人旅。

絵本の中には、作者のお茶目なあそびが散りばめられています。

三びきのこぶた	福音館書店
瀬田貞二 / 訳 , 山田三郎 / 絵	

同名の絵本が他にもありますが、こちらの絵本がおすすめです。

三匹目のこぶたは、カブ掘り、りんごもぎなど、知恵を働かせてオオカミを退治します。利口なこぶたにしてやられるオオカミの様子がおかしく痛快です。

もとのお話は『イギリスとアイルランドの昔話』という本にあります。この本もどうぞお楽しみください。

しょうぼうじどうしゃじぷた	福音館書店
渡辺茂男 / 作 , 山本忠敬 / 絵	

はたらくくるまは、いつの時代も子どもたちに人気です。

消防自動車じぷたは、ジープを改良してつくられたちびっこ消防車です。

はしご車、高圧車、救急車にばかにされていたじぷたに、ある日出動命令が。

小回りのきくちびっこ消防車だからこその大活躍！

子どもたちの応援の声があがる一冊です。

すてきな三にんぐみ	偕成社
トミー・アンゲラー / 作 , いまえよしとも / 訳	

黒マントに黒い帽子の盗賊三人組。おどしの道具は三つ、ラッパ銃にこしょう吹きつけ器、そして真っ赤なおおまさかり。盗んだ宝の使い道など考えたことのない三人組が……。ある日みなしごの女の子を連れ帰ってしまいました。

そこで話は一変し、ため込んだ財宝で城を買い、孤児たちを育てるという意表をつくお話の展開がおもしろい。

だいくとおにろく	福音館書店
松居直 / 再話 , 赤羽末吉 / 画	

昔話によくある「名前あて」のお話。

流れの急な川に橋をかけるよう頼まれた名高い大工の前に、目玉をよこせば橋をかけてやるという鬼が現れます。大工がいい加減な返事をしているうちに橋が完成し、逃げ出す大工に鬼は、自分の名前をあてたら許してやってもいいと言い……。

簡潔な語り口と、力強い鮮やかな絵が、子どもをひきつけます。

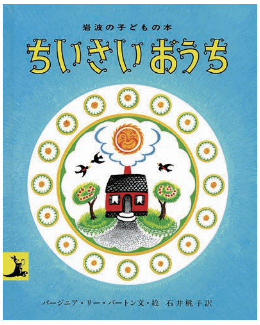
だるまちゃんとてんぐちゃん	福音館書店
加古里子 / 作・絵	

だるまちゃんは、お友達のてんぐちゃんの持っているものが次々と気になり欲しがります。うちわ、帽子、下駄、そして長い鼻。お父さんのだるまどんが用意し、たくさん並べてくれますが、どれも気に入りません。そこでだるまちゃんは……。

子どもらしい言動が、ユーモアたっぷりに描かれています。

4・5歳向け

ちいさいおうち	岩波書店
バージニア・リー・バートン / 文・絵 , 石井桃子 / 訳	

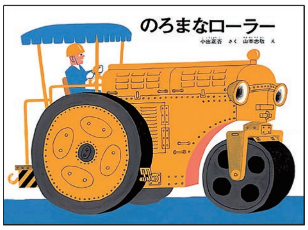


静かないなかに、ちいさいおうちがたっていました。リンゴの木や畑にかこまれて、たいへんしあわせでしたが、まわりに工場がたち、電車が通ってにぎやかな街になると、小さいおうちは、いなかの景色を夢見てさびしく思うのでした……。でも、最後には美しい自然の中で幸せになるという、自然の喜びを伝える絵本です。

どろんこハリー	福音館書店
ジーン・ジオン / 文 , マーガレット・ブロイ・グレアム / 絵 , わたなべしげお / 訳	

お風呂に入るのが大嫌いな「くろいぶちのあるしろいいぬ」ハリー。お風呂の水の音を聞き逃げ出し、どろんこになるまで遊んで「しろいぶちのあるくろいいぬ」になってしまいます。家に帰ってもだれもハリーと分かってくれません。大奮闘のあげくお風呂に入れてもらって、ハリーと分かります。心からほっとする幸せな結末です。

のろまなローラー	福音館書店
小出正吾 / 作 ,　山本忠敬 / 絵	



ゆっくり道をなおしているローラーを「どいたりどいたり。あっはっは……」などと自動車が追い越していきますが、坂の途中まで来ると、みんな止まってしまいます。ゆっくり通り過ぎるローラーに「きみのおかげでみちもりっぱになるのですね。ほんとにありがとう。」と。認められたうれしさを感じさせる絵本です。

はじめてのおつかい	福音館書店
筒井頼子 / 作 , 林明子 / 絵	

みいちゃんはママに頼まれて牛乳を買いに出かけます。自転車にベルを鳴らされてどきんとしたり、坂道で転んでしまったり……。お店につきましたがだれもいません。「ぎゅうにゅうください」と言いましたが小さな声しか出ません。お店の人は、みいちゃんには気がつかないみたい……。こどもの心の動きを鮮やかに描いた絵本です。

はたらきもののじょせつしゃけいてぃー	福音館書店
バージニア・リー・バートン / 文・絵 , いしいももこ / 訳	

雪にうもれたジェオポリスの町を、赤いトラクターのけいてぃーが除雪車をつけ、「ちゃっ！ちゃっ！ちゃっ！」とみちをつけていきます。おかげで消防車は火事を消し、救急車は病人を助け、飛行機は着陸することができました。力強く雪をかきのけ町を救うけいてぃーは、頼もしく、子どもたちのあこがれです。

ふしぎなたけのこ	福音館書店
松野正子 / 作 , 瀬川康男 / 絵	

誕生日のご馳走のたけのこを堀りにいったたろ。脱いだ上着をかけたたけのこが「ぐぐぐっ」とのびます。あわててとびつくと、どんどんのびて、とてつもなく高くなります。とうさんたちがやっと切ったそのたけのこは、いくつもの山々の木をおしわけて倒れ、それを伝わっていくと海に出たという昔話風の力強い絵本です。

ももたろう	福音館書店
松居直 / 文 , 赤羽末吉 / 絵	

おばあさんが川で拾ったももからうまれたももたろう。おばあさんとおじいさんが用意してくれたおかゆや魚を食べて、どんどん大きくなり、立派に成長します。そんなある日、ももたろうは鬼が島の鬼が悪事をはたらいていると聞き、鬼退治にでかけることにします。力強い絵とともに、本当の昔話の面白さが味わえる１冊です。

私たちからのメッセージ

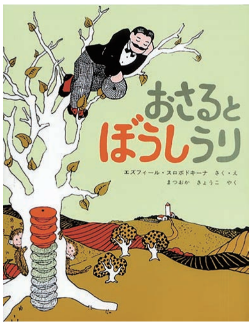
４歳ごろは、自立心が芽生え、ことばに対する力がどんどん伸びるときです。ことばを耳で聞いてそのことばの世界を頭の中に思い描くことのできる力、いわゆる想像力や空想力といわれる力の基礎をしっかり身に着けることが大切になります。ですから、この時期は、ものがたりや昔ばなし絵本を中心に選ぶと良いでしょう。自立心や冒険心が十分に満たされ、満ち足りた幸せな気持ちで閉じることのできる、そんな絵本を選びましょう。

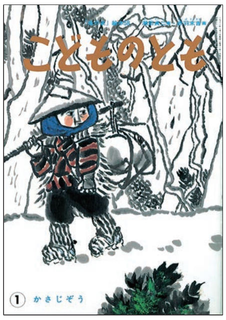
低学年向け（６歳〜）

いやいやえん	福音館書店
中川李枝子 / 作 , 大村百合子 / 絵	
	しげると保育園の仲間たちの楽しいお話が７話入っています。「山のぼり」では、みんなで果物の山へ遠足に行くことになりました。でも、先生との約束を守らなかったしげるは、黒い山で子どもの鬼に出会います。 しげるがいたずらをしたり、わがままを言ったりするところに子どもたちは共感することでしょう。

エルマーのぼうけん	福音館書店
ルース・スタイルス・ガネット / 作 , ルース・グリスマン・ガネット / 絵 , わたなべしげお / 訳	
	エルマーは、どうぶつ島に捕らえられているりゅうを助けるために冒険の旅に出ます。持ち物は、チューインガム、棒つきキャンデー２ダース、歯ブラシ、リボン７本など。エルマーは、これらを使ってりゅうを無事救い出します。 子どもの夢やあこがれを満足させてくれるエルマーのシリーズは、あと２冊あります。

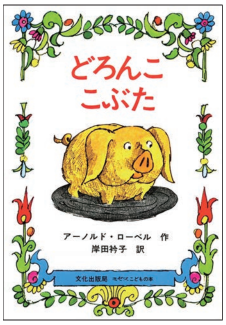
王さまと九にんのきょうだい（中国の民話）	福音館書店
君島久子 / 訳 , 赤羽末吉 / 絵	
	顔も体つきもそっくりな九人の兄弟の一人「ちからもち」が宮殿の倒れた柱を直します。ところが王様はいつか自分を倒しに来るのではないかと心配になり、無理難題を吹っ掛けます。そこで今度は「くいしんぼう」が……。 九人の兄弟が力を合わせて都の悪い王様の計略を破り、やっつけてしまう中国の民話です。

おさるとぼうしうり	ペンギン社
エズフィール・スロボドキーナ / 作・絵 , まつおかきょうこ / 訳	
	帽子売りは、自分の頭の上に帽子をのせて売り歩いていました。ある日、大きな木の下でひと眠りして目を覚ますと、帽子がなくなっていました。帽子を盗んだのは、木の上にいるさるたちでした。 さて、帽子売りはどんな方法で帽子を取り返したのでしょう？ 真面目な帽子売りとさるたちとのやりとりが愉快なお話です。

かさじぞう	福音館書店
瀬田貞二 / 再話 , 赤羽末吉 / 画	
	貧乏なおじいさんは、大晦日に網笠を売りに町へ出かけますが、売れませんでした。そこで雪をかぶっているお地蔵様に笠をかぶせて帰ると、次の朝、そり引きの声がして……。 墨を用いた絵は、日本の雪を見事に表現しています。また、リズムある掛け声も素朴な昔話にあっています。

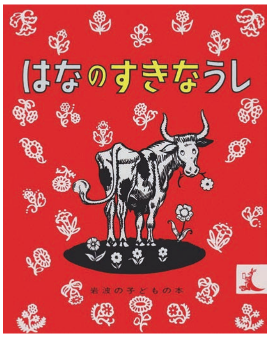
くんちゃんのはじめてのがっこう	ペンギン社
ドロシー・マリノ / 作 , まさきるりこ / 訳	
	「今日から学校へ行くんだ」と、張り切っていたくんちゃんでしたが、字を読んだり、書いたりできないので、自信をなくして外へ飛び出してしまいます。でも大丈夫、楽しい一日を過ごします。 他に「くんちゃんのだいりょこう」などシリーズがあります。どれもくんちゃんがのびのびと成長していく様子が描かれています。

したきりすずめ	福音館書店
石井桃子 / 再話 , 赤羽末吉 / 画	
	じいさの大事に育てているすずめが、洗濯のりを食べて、ばあさに舌を切られてしまいます。じいさは牛洗いや馬洗いに聞いて、すずめの宿にたどり着きます。宿では丁重にもてなされ、帰りに宝の入ったつづらをもらいます。次にばあさが宿に行くと……。 昔話らしい繰り返しや、じいさとばあさの対比が面白い絵本です。

どろんここぶた	文化出版局
アーノルド・ローベル / 作 , 岸田衿子 / 訳	
	こぶたは、どろんこの中に沈んでいくのが大好きでした。ところが、ある日おばさんが大掃除をして、どろんこがなくなってしまいます。怒ったこぶたは、家を出て、どろんこを探しに行きます。やっとみつけたどろんこはセメントだったから、さあ大変！ こぶたの困った表情が印象的なユーモアのある絵本です。

低学年向け（6歳～）

はなのすきなうし	岩波書店
マンロー・リーフ / お話 , ロバート・ローソン / 絵 , 光吉夏弥 / 訳	



「フェルジナンド」って変わった名前ですね。だって、スペインの牛ですから。フェルジナンドは花のにおいをかぐのが大好き。ひょんなことから、闘牛場に連れていかれたフェルジナンドは、ちゃんと、戦えるのでしょうか。

文字や絵の雰囲気も優しく、字を読めるようになった子が自分で読むのにぴったりの本です。

番ねずみのヤカちゃん	福音館書店
リチャード・ウィルバー / 作 , 松岡享子 / 訳 , 大社玲子 / 絵	

読み聞かせるには少し長いかもしれませんが、お母さんねずみの歌や、主人公のヤカちゃんねずみの大きな声など、声に出して読みたくなる楽しいお話です。人間に退治されそうだったねずみの一家が、その家に住むようになったわけが、繰り返しの表現を使いながら楽しく書かれています。

ピーターラビットのおはなし	福音館書店
ビアトリクス・ポター / 作・絵 , いしいももこ / 訳	

大人には、もうおなじみのピーターラビット。子どもたちもうさぎが大好きです。いろいろな姿の挿絵を見るだけでも楽しくなります。シリーズでいろいろなお話が出ていますから、ピーターが好きになった子は、この一冊をきっかけに次々と読み進めるでしょう。日本とは違う雰囲気の景色も素敵です。

ひとまねこざるときいろいぼうし	岩波書店
H.A. レイ / 文・絵 , 光吉夏弥 / 訳	

おさるのジョージは、知りたがりやで、人まねが大好き。アフリカから黄色いぼうしのおじさんに連れて来られました。

ジョージが巻き起こすいろいろなことが、愉快な挿絵とともに読者を楽しませてくれます。

子どもたちは、この本を読みながら、かわいいジョージのことが大好きになるでしょう。テレビアニメにもなりました。

ふたりはともだち	文化出版局
アーノルド・ローベル / 作 , 三木卓 / 訳	

がまがえるのがまくんとかえるくんは、とてもなかよし。二人でするお話は、なんだかとてもほのぼのしています。友だちのよさが分かるようになってきた低学年児童は、ますます、「友だちっていいなあ。」という気持ちになるでしょう。一冊に５つのお話が入っています。自分で一つずつ読むのもいいですね。

ペレのあたらしいふく	福音館書店
エルサ・ベスコフ / 作・絵 , おのでらゆりこ / 訳	

どのページにも大きな挿絵があり、文章は少なめで読みきかせにぴったりの本です。ペレは、好きなこひつじの毛から服をつくります。服が出来あがるまでに、大人にいろいろなことをお願いするのですが、その代わりに、ペレもいろいろな仕事を引き受けます。最後のページの羊とペレは、とてもうれしそうです。

ものぐさトミー	岩波書店
ペーン・デュボア / 文・絵 , 松岡享子 / 訳	

主人公の名前は、トミー・ナマケンボ。電気仕掛けの家に住んでいます。そこでは、歯磨きも食事も、すべてが自動でできてしまいます。ところが、ある日、大雨が降り大風が吹き、電柱が倒れてしまいました。もちろん自動～機は、動きません。さて、ものぐさトミーは、どうなるのでしょう。続きは読んでのお楽しみ！

私たちからのメッセージ

自分で文字を読むことが出来るようになる年齢なので、絵本と読み物の橋渡しになるような本を集めました。一人で読めるようになった子のために、文字もあまり小さくなく、挿絵も多めです。

また、この頃の子どもは、身の回りの事物・自然とも話ができるような感性を持っており、空想の世界に浸って楽しむことができる本も大好きです。言葉の繰り返しがあったり、話の展開がわかりやすかったりと、子どもが次の展開を期待しながら楽しく読めるものを選びました。

第5次鳥取市子どもの読書活動推進計画

～ 広げよう、本から広がる世界・夢 ～

令和８年４月発行

監　　修　鳥取市子どもの読書活動推進委員会

編集発行　鳥取市教育委員会事務局生涯学習・スポーツ課

〒680-8571

鳥取市幸町 71 番地

電　話　0857-30-8426

ファクシミリ　0857-20-3954